

高齢者の福祉や介護に関する調査
－ 市民ニーズ調査 －
報告書

2020年3月
町田市高齢社会総合計画審議会
町田市

高齢者の福祉や介護に関する調査 — 市民ニーズ調査 — 報告書
目次

I. 調査概要	1
1. 目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査方法	1
4. 調査対象及び回収数	1
5. 報告書の見方	1
6. 調査内容の一覧	2
7. 圏域の表記	3
II. 調査結果	4
1. 基本属性	4
(1) 回答者	4
(2) 性別	5
(3) 年齢	6
2. 生活状況について	7
(1) 同居者	7
(2) 居住地域	8
(3) 住居	9
(4) 日中独居の状況	13
(5) 近所付き合いの有無	14
(6) 情報入手の際、日常的に使用している媒体	16
(7) 日常生活で困ったり、不安に思う場面	17
(8) 介護や子育て等、困りごとの有無	20
(9) 家計状況	22
(10) 幸福度	23
3. 身体や介護・介助の状況について	24
(1) 治療中の病気や後遺症のある病気	24
(2) 要介護認定状況	26
(3) 介護・介助が必要になった主な原因	27
(4) 主な介護者	29
4. 認知機能について	31
(1) 認知機能	31
(2) 認知症	33

(3)	認知機能低下リスクと認知症	34
(4)	認知症相談窓口の認知度	35
5.	在宅療養について	36
(1)	在宅療養希望の有無	36
(2)	在宅療養について不安に感じる事	37
(3)	訪問診療の利用状況	38
6.	介護保険サービスについて	39
(1)	利用状況	39
(2)	満足度	41
(3)	利用検討中のサービスや施設等	45
7.	高齢者支援センターについて	47
(1)	高齢者支援センターの認知度	47
(2)	虐待に関する相談先の認知度	48
8.	地域包括ケアシステムの考え方について	49
(1)	地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの	49
(2)	最期を迎えたい場所	51
(3)	これからの介護の望ましい形態	52
(4)	町田市介護保険サービス・高齢者福祉施策についての要望等	53
9.	特別養護老人ホームの入所待機について	60
(1)	申し込んだ主な理由	60
(2)	入所を希望する理由	61
(3)	入所通知が来た場合の対応	62
III.	調査票	63

I. 調査概要

1. 目的

本調査は、2021年度～2023年度の介護保険のサービス量の見込みや、介護保険料等について定める「第8期町田市介護保険事業計画」策定の基礎資料として、高齢者やその家族の状況やニーズを把握し、計画に反映させることを目的に実施した。

2. 調査期間

2019年12月10日（火）～2019年12月27日（金）

3. 調査方法

郵送法（郵送による調査票の配付・回収）

4. 調査対象及び回収数

調査対象	要介護1～5	特養待機者※1	合計(全体)
抽出方法	要介護の認定を受けている65歳以上の市民（施設入所者も含む）から無作為抽出※2	65歳以上の市民で、特別養護老人ホームへの入所申込者から無作為抽出※2	
調査発送数	2,820件	180件	3,000件
回収数	1,549件	80件	1,629件
回収率	54.9%	44.4%	54.3%

※1：特養待機者は、2019年4月1日時点の特養待機者調査結果に基づき抽出した。

※2：調査対象者の無作為抽出は、高齢者支援センターの12区域ごとに行った。

なお、集計分析は高齢者支援センターごとの抽出率の差異に関する補正を行わない単純集計に基づく。

5. 報告書の見方

- ・ 百分率（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。
- ・ グラフ内の（ ）は、設問の回答者数（母数）をあらわしている。
- ・ グラフ内の「回答者数」は、各設問に該当する回答の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

6. 調査内容の一覧

共通の設問	
問 1	回答者(単数回答)
問 2	性別(単数回答)
問 3	年齢(単数回答)
問 4	同居者(複数回答)
問 5	居住地域(単数回答)
問 6	住居(単数回答)
問 6-1	住居の所有状況と建物の種類(単数回答)
問 6-2	5年以内の住み替え意向(単数回答)
問 7	治療中の病気や後遺症のある病気(複数回答)
問 8	要介護認定状況(単数回答)
問 9	介護・介助が必要になった主な原因(複数回答)
問 10	主な介護者(複数回答)
問 11	日中独居の状況(単数回答)
問 12	近所付き合いの有無(単数回答)
問 13	情報入手の際、日常的に使用している媒体(複数回答)
問 14	介護や子育て等、困りごとの有無(複数回答)
問 15	家計状況(単数回答)
問 16	幸福度(単数回答)
問 17	物忘れについて(単数回答)
問 18	電話について(単数回答)
問 19	日付について(単数回答)
問 20	認知症(単数回答)
問 20-1	認知症を理由にサービス利用を断られた経験の有無(複数回答)
問 21	認知症相談窓口の認知度(複数回答)
問 22	日常生活で困ったり、不安に思う場面(単数回答)
問 23	在宅療養希望の有無(単数回答)
問 24	在宅療養について不安に感じる事(複数回答)
問 25	訪問診療の利用状況(単数回答)
問 26	介護保険サービスの利用状況(複数回答)と満足度(各単数回答)(自由記載)
問 27	利用検討中のサービスや施設等(複数回答)
問 28	最期を迎えたい場所(単数回答)
問 29	これからの介護の望ましい形態(単数回答)
問 30	高齢者支援センターの認知度(単数回答)
問 31	虐待に関する相談先の認知度(単数回答)
問 32	地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの(複数回答)
問 33	町田市介護保険サービス・高齢者福祉施策についての要望等(自由記述)
特養待機者の設問	
問 34	申し込んだ主な理由(単数回答)
問 35	入所を希望する理由(複数回答)
問 36	入所通知が来た場合の対応(単数回答)

7. 圏域の表記

本報告書における「圏域」は、「問1所在地」で得た回答で、下表のとおり分類している。

堺・忠生圏域	堺第1	相原町
	堺第2	小山町、小山ヶ丘、上小山田町
	忠生第1	下小山田町、忠生、小山田桜台、矢部町、常盤町、根岸町、根岸、函師町
	忠生第2	山崎町、山崎、木曾町、木曾西、木曾東
鶴川圏域	鶴川第1	小野路町、野津田町、金井、金井町、大蔵町、薬師台
	鶴川第2	能ヶ谷、三輪町、三輪緑山、広袴町、広袴、真光寺町、真光寺、鶴川
町田圏域	町田第1	原町田、中町、森野、旭町
	町田第2	本町田
	町田第3	玉川学園、東玉川学園、南大谷
南圏域	南第1	鶴間、小川、つくし野、南つくし野、南町田
	南第2	金森、金森東、南成瀬、成瀬が丘
	南第3	成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台

II. 調査結果

※グラフ内の（ ）は、回答者数をあらわしている

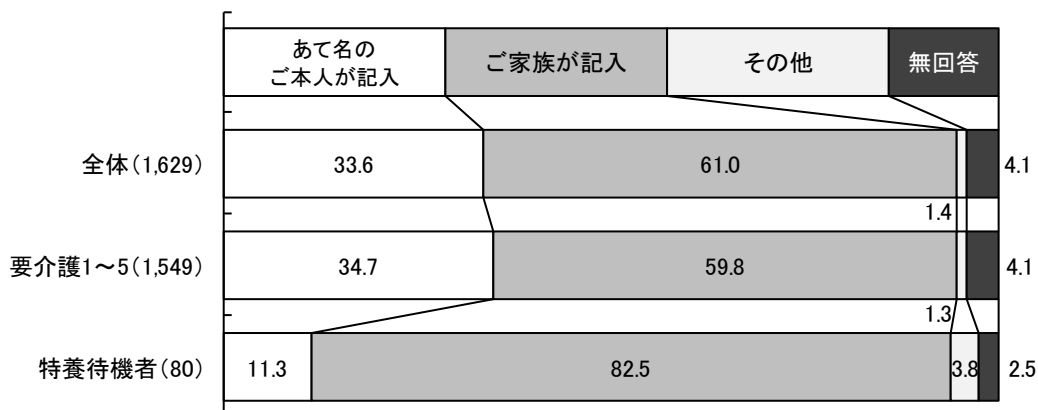
1. 基本属性

(1) 回答者

問1 ご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

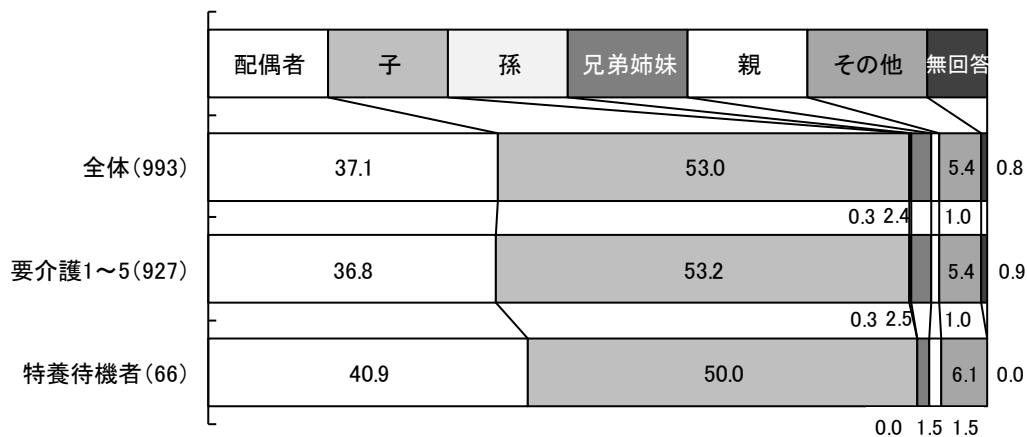
調査票の記入者について、要介護1～5は、「ご家族が記入」が59.8%、「あて名のご本人が記入」が34.7%となっている。また、特養待機者は、「ご家族が記入」が82.5%、「あて名のご本人が記入」が11.3%となっている。

図表 1-1 調査票の記入者(単数回答)



記入者【ご家族】の続柄について、要介護1～5は、「子」が53.2%、「配偶者」が36.8%となっている。また、特養待機者は、「子」が50.0%、「配偶者」が40.9%となっている。

図表 1-2 記入者【ご家族】の続柄(単数回答)

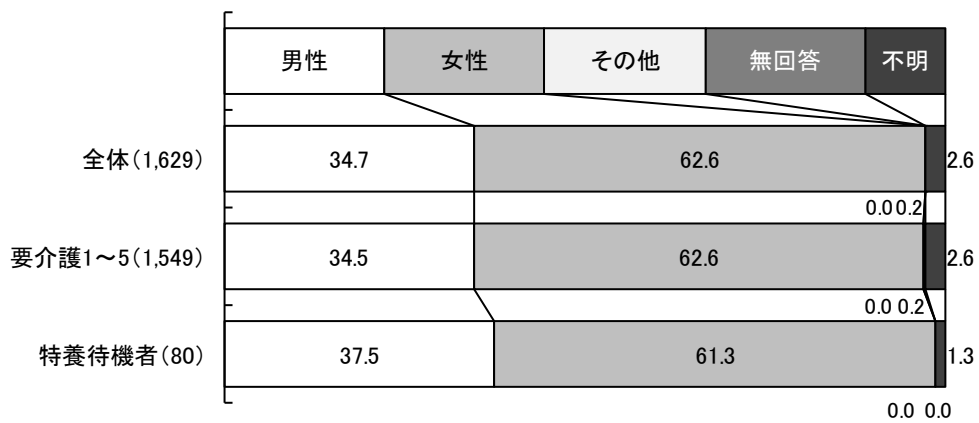


(2) 性別

問2 あなた（あて名ご本人）の性別（○は1つ）

性別について、要介護1～5は、「女性」が62.6%、「男性」が34.5%となっている。また、特養待機者は、「女性」が61.3%、「男性」が37.5%となっている。

図表 1-3 性別(単数回答)



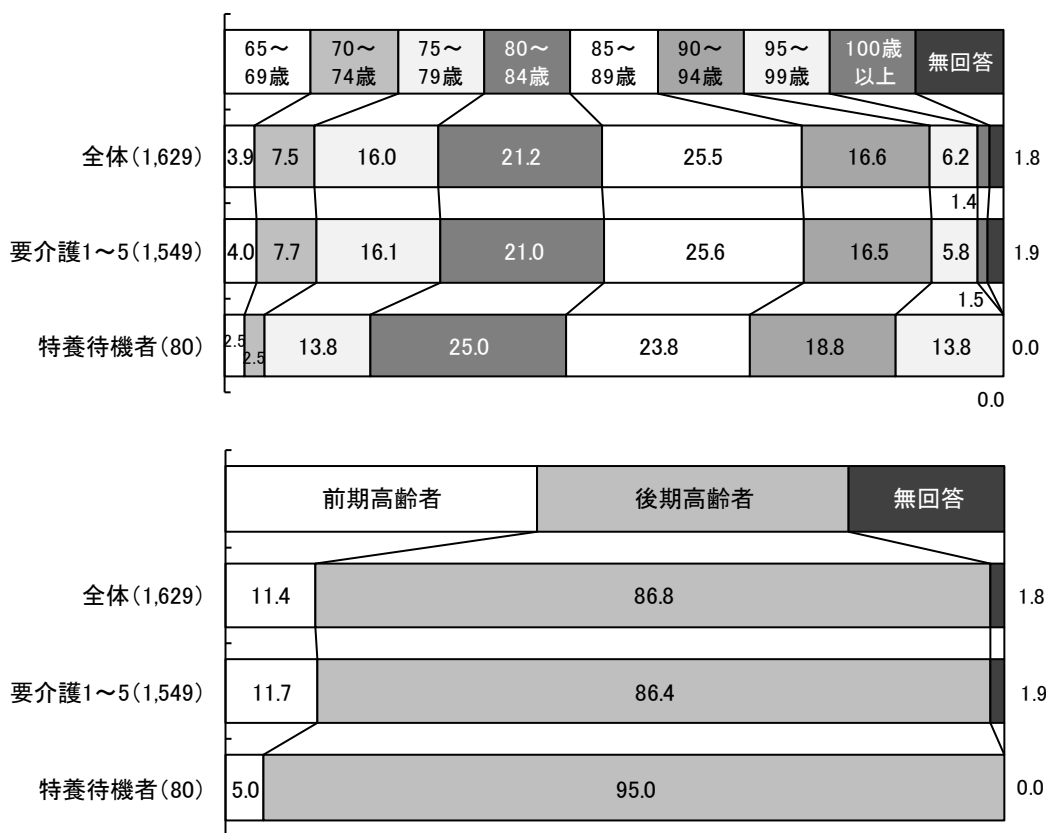
(3) 年齢

問3 あなたの年齢（記入日時点）（○は1つ）

年齢について、要介護1～5は、「85～89歳」(25.6%)が最も高く、次いで「80～84歳」(21.0%)、「90～94歳」(16.5%)、「75～79歳」(16.1%)と続いている。

一方、特養待機者は、「80～84歳」(25.0%)が最も高く、次いで「85～89歳」(23.8%)、「90～94歳」(18.8%)、「75～79歳」「95～99歳」(ともに13.8%)と続いており、95.0%が「後期高齢者」である。

図表 1-4 年齢(単数回答)



※それぞれ小数点以下第2位を四捨五入した数値のため、合計値は異なっている

2. 生活状況について

(1) 同居者

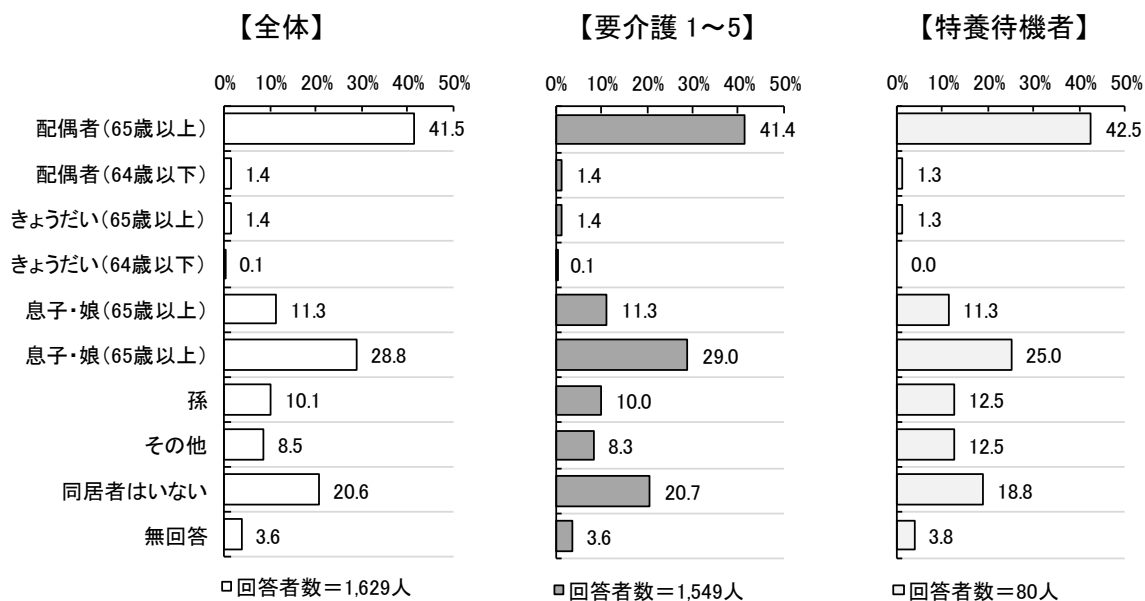
問4 あなたのご家族について、現在同居されている方をお教えてください。

(当てはまるもの全てに○)

同居者について、要介護1～5は、「配偶者（65歳以上）」（41.4%）が最も高く、次いで「息子・娘（64歳以下）」（29.0%）、「息子・娘（65歳以上）」（11.3%）と続いている。特養待機者も、「配偶者（65歳以上）」（42.5%）が最も高く、次いで「息子・娘（64歳以下）」（25.0%）、「孫」（12.5%）、「息子・娘（65歳以上）」（11.3%）と続いている。

なお、高齢者単身世帯（「同居者はいない」）は、要介護1～5が20.7%、特養待機者が18.8%となっている。また、高齢者夫婦のみ世帯（「配偶者（65歳以上）」のみ回答）は、要介護1～5が28.9%、特養待機者が27.5%となっている。

図表 2-1 同居者(複数回答)



図表 2-2 【再分類】同居者(単数回答)

	高齢単身世帯 (同居者はいない)	高齢者夫婦のみ世帯 (配偶者65歳以上)	高齢者夫婦のみ世帯 (配偶者64歳以下)	息子・娘との 二世帯	その他	無回答
全体(1,629)	20.6	28.9	28.9	17.2	3.6	
要介護1～5(1,549)	20.7	28.9	29.1	16.9	3.6	
特養待機者(80)	18.8	27.5	25.0	23.8	3.8	

0.8 1.3

(2) 居住地

問5 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。(○は1つ)

回答者の居住地・居住圏域については、下図のとおりである。

図表 2-3 居住地(単数回答)

	堺第1	堺第2	忠生第1	忠生第2	鶴川第1	鶴川第2	町田第1	町田第2	町田第3	南第1	南第2	南第3	無回答
全体(1,629)	7.9	8.2	7.6	7.7	7.8	9.3	7.6	7.4	8.0	9.0	8.8	8.2	2.5
要介護1~5(1,549)	8.1	8.3	7.6	7.7	7.7	9.0	7.7	7.7	8.1	9.0	8.8	7.8	2.6
特養待機者(80)	5.0	6.3	8.8	6.3	10.0	15.0	6.3	6.3	8.8	8.8	16.3	0.0	2.5

図表 2-4 居住圏域(単数回答)

	堺・忠生圏域	鶴川圏域	町田圏域	南圏域	無回答
全体(1,629)	31.4	17.1	23.0	26.0	2.5
要介護1~5(1,549)	31.7	16.7	23.5	25.6	2.6
特養待機者(80)	26.4	25.0	15.1	33.9	0.0

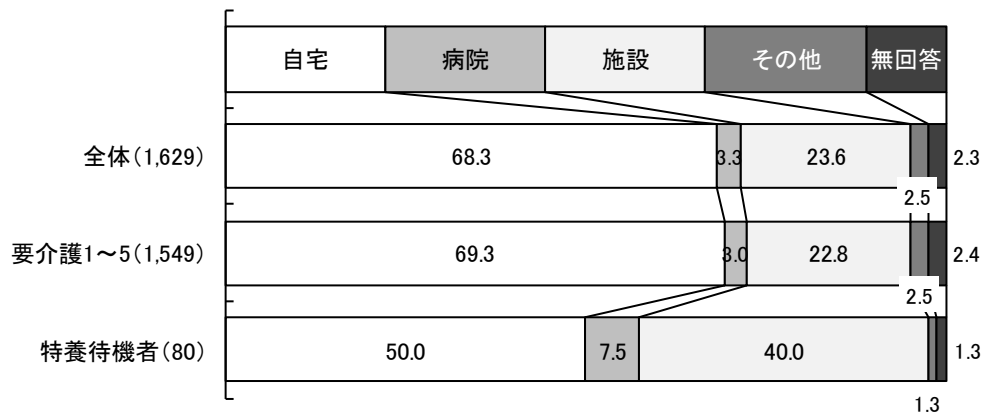
(3) 住居

問6 あなたは、現在どちらにお住まいですか。(〇は1つ)

現在の住まいについて、要介護1～5は、「自宅(きょうだい、子ども、親戚等の家を含む)」(69.3%)が最も高く、次いで「施設(入所中)」(22.8%)、「病院(長期的な入院)」(3.0%)となっている。

特養待機者は「自宅(きょうだい、子ども、親戚等の家を含む)」の割合が50.0%で、要介護1～5を19.3ポイント下回っている。

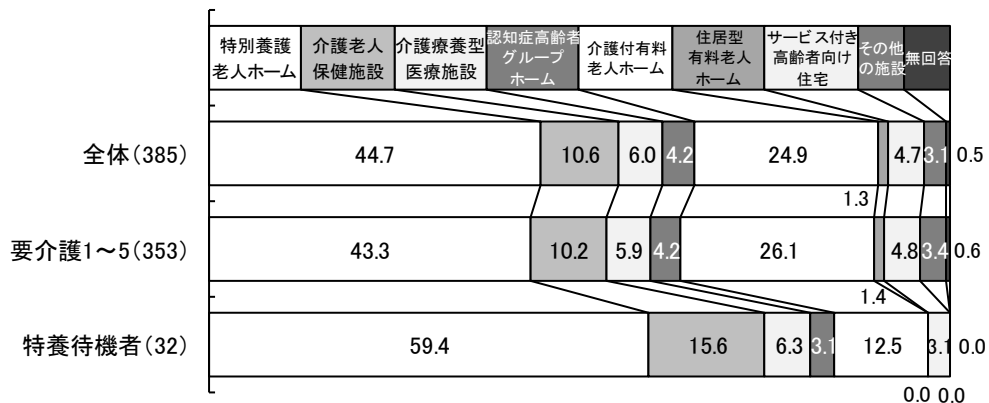
図表 2-5 現在の住まい(単数回答)



現在の住まい【施設】の種類について、要介護1～5は、「特別養護老人ホーム」(43.3%)が最も高く、次いで「介護付有料老人ホーム」(26.1%)、「介護老人保健施設」(10.2%)と続いている。

特養待機者は、「特別養護老人ホーム」(59.4%*)が最も高く、次いで「介護老人保健施設」(15.6%)、「介護付有料老人ホーム」(12.5%)、「介護療養型医療施設」(6.3%)と続いている。

図表 2-6 現在の住まい【施設】の種類(単数回答)



※特養待機者は、2019年4月1日時点の調査結果に基づき対象者を抽出しているため、特養待機者の「特別養護老人ホーム」には、2019年4月1日以後に入所した方が含まれる

問6で「1. 自宅」と回答した方におたずねします。

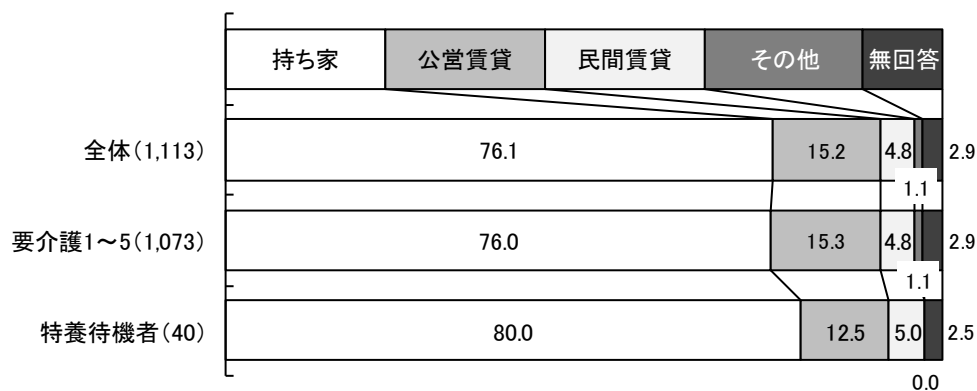
問6-1 現在のお住まいについて、所有の状況（持ち家／賃貸）と建物の種類をお答えください。（〇はそれぞれ1つ）

問6-2 今後5年以内に現在の住まいから住み替えたい考えはありますか。（〇は1つ）

現在の住まい【自宅】の方の住居の所有状況について、要介護1～5は、「持ち家」（76.0%）が最も高く、次いで「公営賃貸」（15.3%）、「民間賃貸」（4.8%）となっている。

特養待機者は「持ち家」（80.0%）が最も高く、次いで「公営賃貸」（12.5%）、「民間賃貸」（5.0%）となっている。

図表 2-7 住居の所有状況(単数回答)



要介護 1～5 の住居の所有状況を居住地域別にみると、「持ち家」の割合が高いのは、鶴川第 1 (94.7%)、堺第 2 (94.0%)、忠生第 1 (91.3%) となっている。一方、「公営賃貸」は、忠生第 2 (45.0%)、町田第 2 (39.3%) で高くなっている。

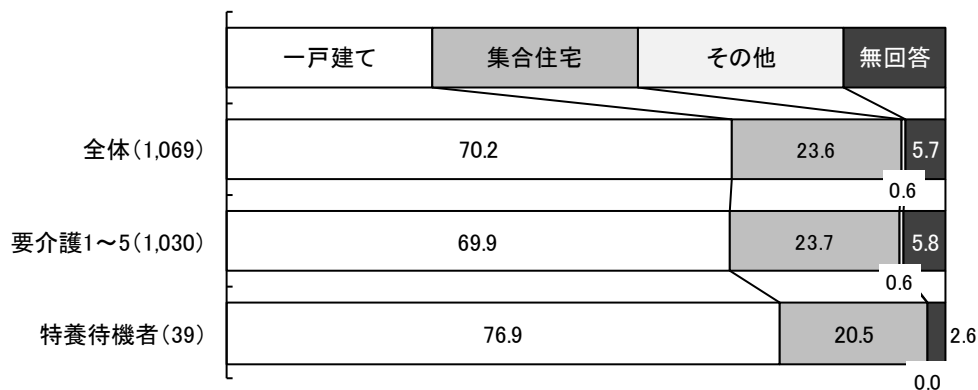
図表 2-8 住居の所有状況／居住地域【要介護 1～5】

		回答者数(人)	持ち家	公営賃貸	民間賃貸	その他	無回答
全体		1,073	76.0	15.3	4.8	1.1	2.9
居住地域別	堺第 1	86	76.7	15.1	4.7	1.2	2.3
	堺第 2	100	94.0	0.0	2.0	1.0	3.0
	忠生第 1	69	91.3	1.4	1.4	4.3	1.4
	忠生第 2	80	46.3	45.0	5.0	0.0	3.8
	鶴川第 1	75	94.7	1.3	2.7	0.0	1.3
	鶴川第 2	103	79.6	6.8	8.7	1.9	2.9
	町田第 1	91	64.8	23.1	5.5	2.2	4.4
	町田第 2	89	56.2	39.3	2.2	0.0	2.2
	町田第 3	96	84.4	6.3	4.2	1.0	4.2
	南第 1	86	84.9	1.2	9.3	0.0	4.7
	南第 2	100	61.0	29.0	5.0	2.0	3.0
	南第 3	90	80.0	14.4	4.4	0.0	1.1

現在の住まい【自宅】（持ち家・公営賃貸・民間賃貸）の方の建物種類について、要介護1～5は、「一戸建て」が69.9%、「集合住宅（マンション・アパート等）」が23.7%となっている。

特養待機者は、「一戸建て」が76.9%、「集合住宅（マンション・アパート等）」が20.5%となっている。

図表 2-9 【持ち家・賃貸】の建物種類(単数回答)

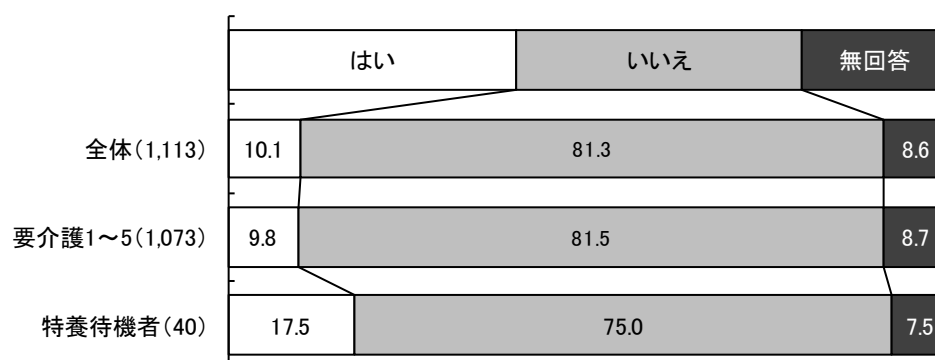


現在の住まい【自宅】の方の5年以内の住み替え意向について、要介護1～5は、「いいえ」が81.5%、「はい」が9.8%となっている。

特養待機者は、「いいえ」が75.0%、「はい」が17.5%となっている。

「はい」（住み替えたい）の割合は、特養待機者（17.5%）が要介護1～5（9.8%）を7.7ポイント上回っている。

図表 2-10 現在の住まい【自宅】の方の5年以内の住み替え意向(単数回答)



(4) 日中独居の状況

問 11 日中、一人になることがありますか。(○は1つ)

現在の住まい【自宅】の方の日中独居の状況について、要介護 1～5 は、「よくある」または「たまにある」との回答が 79.1%を占め、「ない」との回答は 17.7%となっている。

一方、特養待機者は、「よくある」または「たまにある」との回答が 72.5%で、「ない」との回答は 27.5%となっている。

図表 2-11 現在の住まい【自宅】の方の日中独居の状況(単数回答)

	よくある	たまにある	ない	無回答
全体(1,113)	34.3	44.6	18.1	3.1
要介護1～5(1,073)	34.3	44.8	17.7	3.2
特養待機者(40)	35.0	37.5	27.5	

(5) 近所付き合いの有無

問 12 あなたは、地域のご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。

(○は1つ)

現在の住まい【自宅】の方の近所付き合いの有無について、要介護1～5は、「あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない」(42.7%)が最も高く、次いで「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」(29.7%)、「全く付き合いをしていない」(16.1%)、「互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる」(7.6%)となっている。

特養待機者は、「全く付き合いをしていない」(45.0%)が最も高く、次いで「あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない」(35.0%)、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」「互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる」(ともに10.0%)となっている。

図表 2-12 現在の住まい【自宅】の方の近所付き合いの有無(単数回答)

	互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる	日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている	あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない	全く付き合いをしていない	無回答
全体(1,113)	7.7	29.0	42.4	17.2	3.7
要介護1～5(1,073)	7.6	29.7	42.7	16.1	3.8
特養待機者(40)	10.0	10.0	35.0	45.0	

要介護 1～5 の居住地域別でみると、「互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる」は、堺第 1、忠生第 1（ともに 11.6%）が最も高くなっている。

「あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない」は、町田第 3（47.9%）が最も高く、次いで忠生第 2（46.3%）、町田第 2（46.1%）、南第 2（46.0%）、町田第 1（45.1%）となっている。

「全く付き合いをしていない」は、堺第 2 で 22.0%と最も高くなっている。

図表 2-13 近所付き合いの有無／居住地域【要介護 1～5】

		回答者数(人)	互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる	日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている	あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない	全く付き合いをしていない	無回答
全体		1,073	7.6	29.7	42.7	16.1	3.8
居住地域別	堺第 1	86	11.6	25.6	40.7	17.4	4.7
	堺第 2	100	7.0	35.0	34.0	22.0	2.0
	忠生第 1	69	11.6	26.1	43.5	18.8	0.0
	忠生第 2	80	7.5	22.5	46.3	17.5	6.3
	鶴川第 1	75	9.3	34.7	33.3	13.3	9.3
	鶴川第 2	103	4.9	30.1	44.7	17.5	2.9
	町田第 1	91	7.7	26.4	45.1	15.4	5.5
	町田第 2	89	7.9	33.7	46.1	9.0	3.4
	町田第 3	96	6.3	21.9	47.9	19.8	4.2
	南第 1	86	7.0	30.2	39.5	19.8	3.5
	南第 2	100	7.0	34.0	46.0	10.0	3.0
	南第 3	90	6.7	36.7	44.4	12.2	0.0

(6) 情報入手の際、日常的に使用している媒体

問 13 次の中で、情報を得るために日常的に使用しているものはありますか。

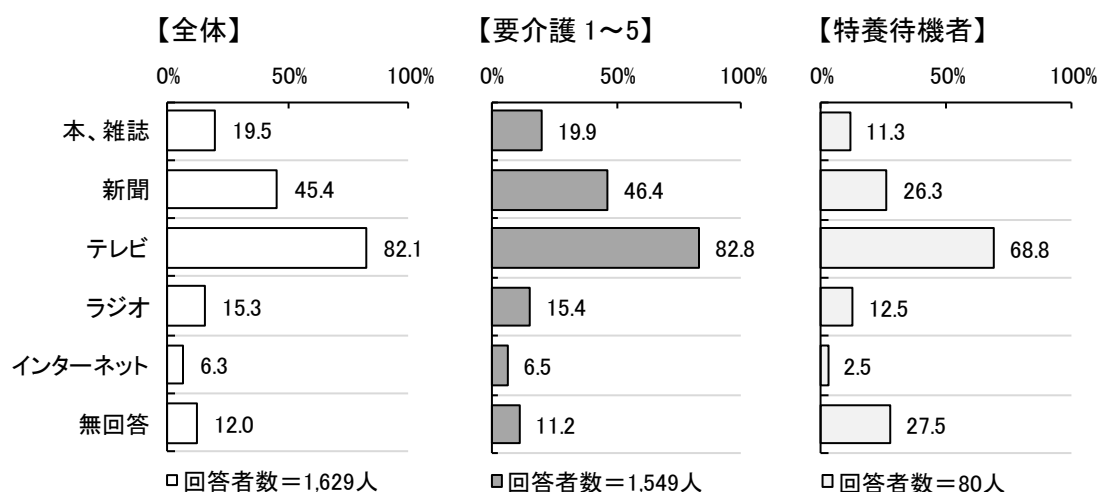
(当てはまるもの全てに○)

情報入手の際、日常的に使用している媒体について、要介護1～5は、「テレビ」(82.8%)が最も高く、次いで「新聞」(46.4%)、「本、雑誌」(19.9%)と続いている。

特養待機者は、「テレビ」(68.8%)が最も高く、次いで「新聞」(26.3%)、「ラジオ」(12.5%)と続いている。

「インターネット」の割合をみると、要介護1～5で6.5%、特養待機者で2.5%といずれも低くなっている。また、要介護1～5の「インターネット」の割合を年齢区分別でみると、前期高齢者の19.8%に対し、後期高齢者は4.7%と、顕著な差がみられる。

図表 2-14 情報入手の際、日常的に使用している媒体(複数回答)



図表 2-15 情報入手の際、日常的に使用している媒体/年齢区分【要介護1～5】

		回答者数(人)	本、雑誌	新聞	テレビ	ラジオ	インターネット	無回答
全体		1,549	19.9	46.4	82.8	15.4	6.5	11.2
年齢区分	前期高齢者	182	23.6	44.0	90.1	18.1	19.8	4.9
	後期高齢者	1,338	19.2	46.5	82.0	15.2	4.7	11.9

(7) 日常生活で困ったり、不安に思う場面

問 22 以下の場面について、利用する場合困ったり不安に思うことはありますか。

(○は1つ)

- ①スーパーやコンビニの買い物や会計における不安
- ②銀行や郵便局の窓口やATMでのお金の引き出しにおける不安
- ③電車やバスなどの公共交通機関の利用における不安

スーパーやコンビニの買い物や会計における不安について、要介護1～5は、「利用しない」(45.7%)が最も高く、『不安に感じない』は28.1%、『不安を感じる』は15.8%となっている。

特養待機者は、「利用しない」(71.3%)が最も高く、『不安に感じない』は6.3%、『不安を感じる』は11.3%となっている。

また、要介護1～5の認知機能別でみると、認知症と診断された方は、「利用しない」と「とても不安を感じる」において、認知機能の低下リスク有の方をそれぞれ11.5ポイントと1.4ポイント上回っている。

図表 2-16 ①スーパーやコンビニの買い物や会計における不安(単数回答)

	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答		
全体(1,629)	47.0		12.3	14.8	9.1	6.4	10.4	
要介護1～5(1,549)	45.7		12.7	15.4	9.3	6.5	10.3	
特養待機者(80)	71.3				3.8	6.3	5.0	11.3
					2.5			

※『不安に感じない』=「全く不安がない」+「あまり不安に感じない」

※『不安を感じる』=「やや不安を感じる」+「とても不安を感じる」

図表 2-17 ①スーパーやコンビニの買い物や会計における不安／認知機能【要介護1～5】

	回答者数(人)	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答
全体	1,549	45.7	12.7	15.4	9.3	6.5	10.3
認知機能 認知機能の低下リスク有 ^{※1}	1,078	50.3	7.6	14.2	10.6	8.2	9.2
認知機能 認知症と診断 ^{※2}	513	61.8	3.7	6.8	8.0	9.6	10.1

※1：問 17 物忘れが多いと感じるかに、「はい」と回答した方

※2：問 20 病院で認知症と診断されたことがあるかに、「はい」と回答した方

銀行や郵便局の窓口やATMでのお金の引き出しにおける不安について、要介護1～5は、「利用しない」(49.9%)が最も高く、『不安に感じない』が23.8%、『不安を感じる』が16.1%となっている。

特養待機者は、「利用しない」(72.5%)が最も高く、『不安に感じない』は7.5%、『不安を感じる』は10.0%となっている。

また、要介護1～5の認知機能別でみると、認知症と診断された方は、「利用しない」と「とても不安を感じる」において、認知機能の低下リスク有の方をそれぞれ10.0ポイントと3.0ポイント上回っている。

図表 2-18 ②銀行や郵便局の窓口やATMでのお金の引き出しにおける不安(単数回答)

	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答		
全体(1,629)	51.0		12.2	10.8	8.3	7.5	10.1	
要介護1～5(1,549)	49.9		12.6	11.2	8.5	7.6	10.1	
特養待機者(80)	72.5				5.0	5.0	5.0	10.0

2.5

※『不安に感じない』 = 「全く不安がない」 + 「あまり不安に感じない」

※『不安を感じる』 = 「やや不安を感じる」 + 「とても不安を感じる」

図表 2-19 ②銀行や郵便局の窓口やATMでのお金の引き出しにおける不安／認知機能【要介護1～5】

		回答者数(人)	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答
全体		1,549	49.9	12.6	11.2	8.5	7.6	10.1
認知機能	認知機能の低下リスク有	1,078	55.5	7.1	9.5	9.1	9.7	9.1
	認知症と診断	513	65.5	2.9	3.1	5.3	12.7	10.5

電車やバスなどの公共交通機関の利用における不安について、要介護1～5は、「利用しない」(50.7%)が最も高く、『不安に感じない』は16.9%、『不安を感じる』は22.6%となっている。

特養待機者は、「利用しない」(72.5%)が最も高く、『不安に感じない』は3.8%、『不安を感じる』は12.5%となっている。

また、要介護1～5の認知機能別でみると、認知症と診断された方は、「利用しない」と「とても不安を感じる」において、認知機能の低下リスク有の方をそれぞれ7.0ポイントと1.4ポイント上回っている。

図表 2-20 ③電車やバスなどの公共交通機関の利用における不安(単数回答)

	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答
全体(1,629)	51.8	7.6	8.7	10.9	11.2	9.9
要介護1～5(1,549)	50.7	7.9	9.0	11.1	11.5	9.8
特養待機者(80)	72.5	1.3	2.5	7.5	5.0	11.3

※『不安に感じない』 = 「全く不安がない」 + 「あまり不安に感じない」

※『不安を感じる』 = 「やや不安を感じる」 + 「とても不安を感じる」

図表 2-21 ③電車やバスなどの公共交通機関の利用における不安／認知機能【要介護1～5】

	回答者数(人)	利用しない	全く不安がない	あまり不安に感じない	やや不安を感じる	とても不安を感じる	無回答
全体	1,549	50.7	7.9	9.0	11.1	11.5	9.8
認知機能 認知機能の低下リスク有	1,078	54.2	4.8	8.7	10.8	13.2	8.3
認知機能 認知症と診断	513	61.2	2.3	5.1	7.0	14.6	9.7

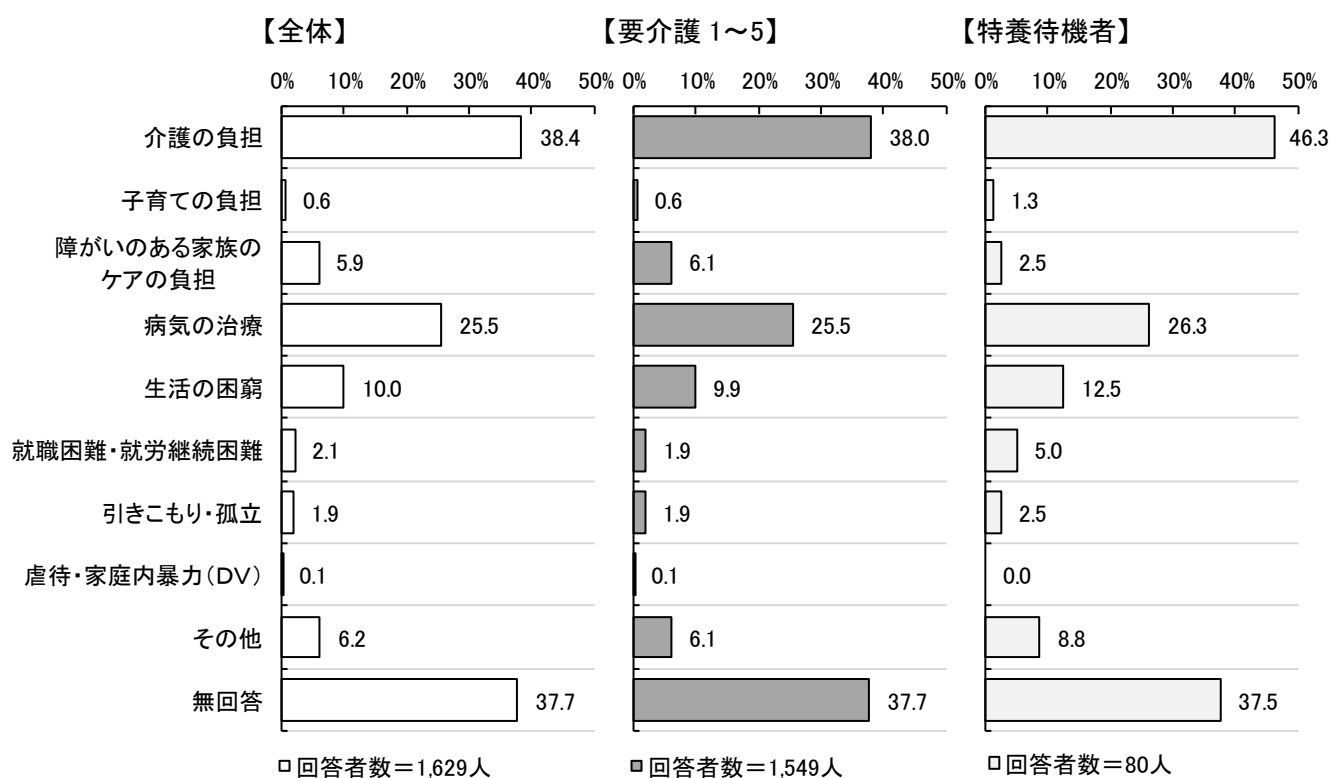
(8) 介護や子育て等、困りごとの有無

問 14 あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(当てはまるもの全てに○)

介護や子育て等、困りごとの有無について、要介護1～5は、「介護の負担」(38.0%)が最も高く、次いで「病気の治療」(25.5%)、「生活の困窮」(9.9%)、「障がいのある家族のケアの負担」(6.1%)と続いている。

特養待機者は、「介護の負担」(46.3%)が最も高く、次いで「病気の治療」(26.3%)、「生活の困窮」(12.5%)と続いている。

図表 2-22 介護や子育て等、困りごとの有無(複数回答)



困りごとの数をみると、困りごとが2つ以上の割合は、特養待機者（26.3%）が要介護1～5（20.4%）を5.9ポイント上回っている。

図表 2-23 困りごとの数

	困りごとが 1つ	困りごとが 2つ	困りごとが 3つ	困りごとが 4つ以上	無回答
全体(1,629)	41.7	15.0	37.1	1.8	37.7
要介護1～5(1,549)	42.0	15.0	37.7	1.8	37.7
特養待機者(80)	36.3	16.3	5.0	5.0	37.5

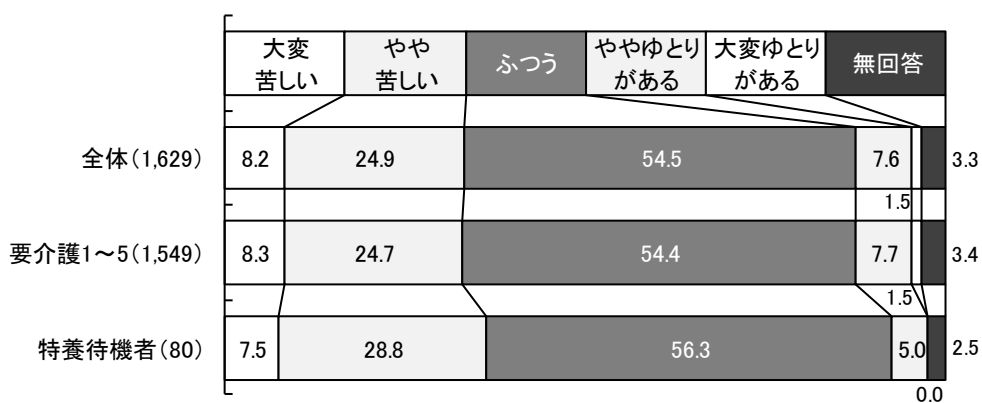
(9) 家計状況

問 15 現在の暮らし（家計）の状況を総合的にみてどう感じていますか。（○は1つ）

家計状況について、「ふつう」の割合は要介護1～5、特養待機者ともに5割台半ばとなっている。

『苦しい』（「大変苦しい」+「やや苦しい」）の割合は、特養待機者（36.3%）が要介護1～5（33.0%）を3.3ポイント上回っている。

図表 2-24 家計状況(単数回答)

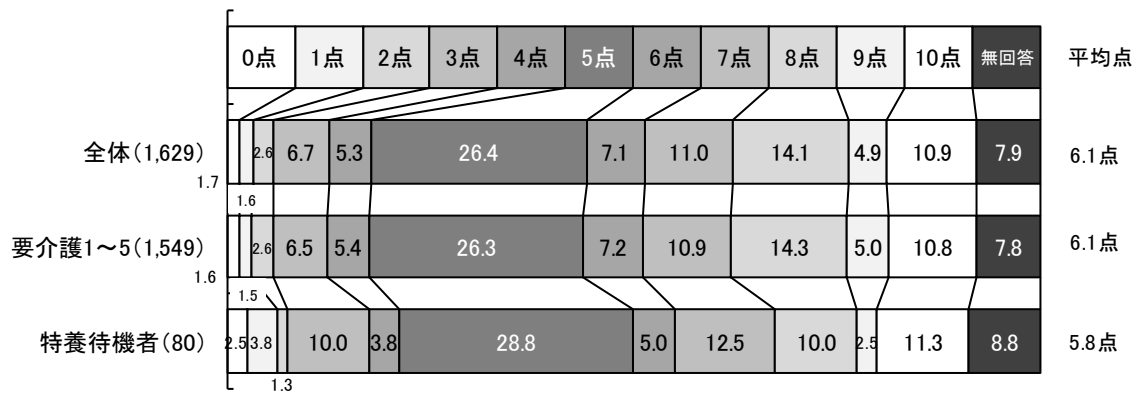


(10) 幸福度

問 16 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点としてご回答ください。(○は 1 つ)

幸福度の平均点をみると、要介護 1～5 は 6.1 点、特養待機者は 5.8 点となっている。

図表 2-25 幸福度(単数回答)



3. 身体や介護・介助の状況について

(1) 治療中の病気や後遺症のある病気

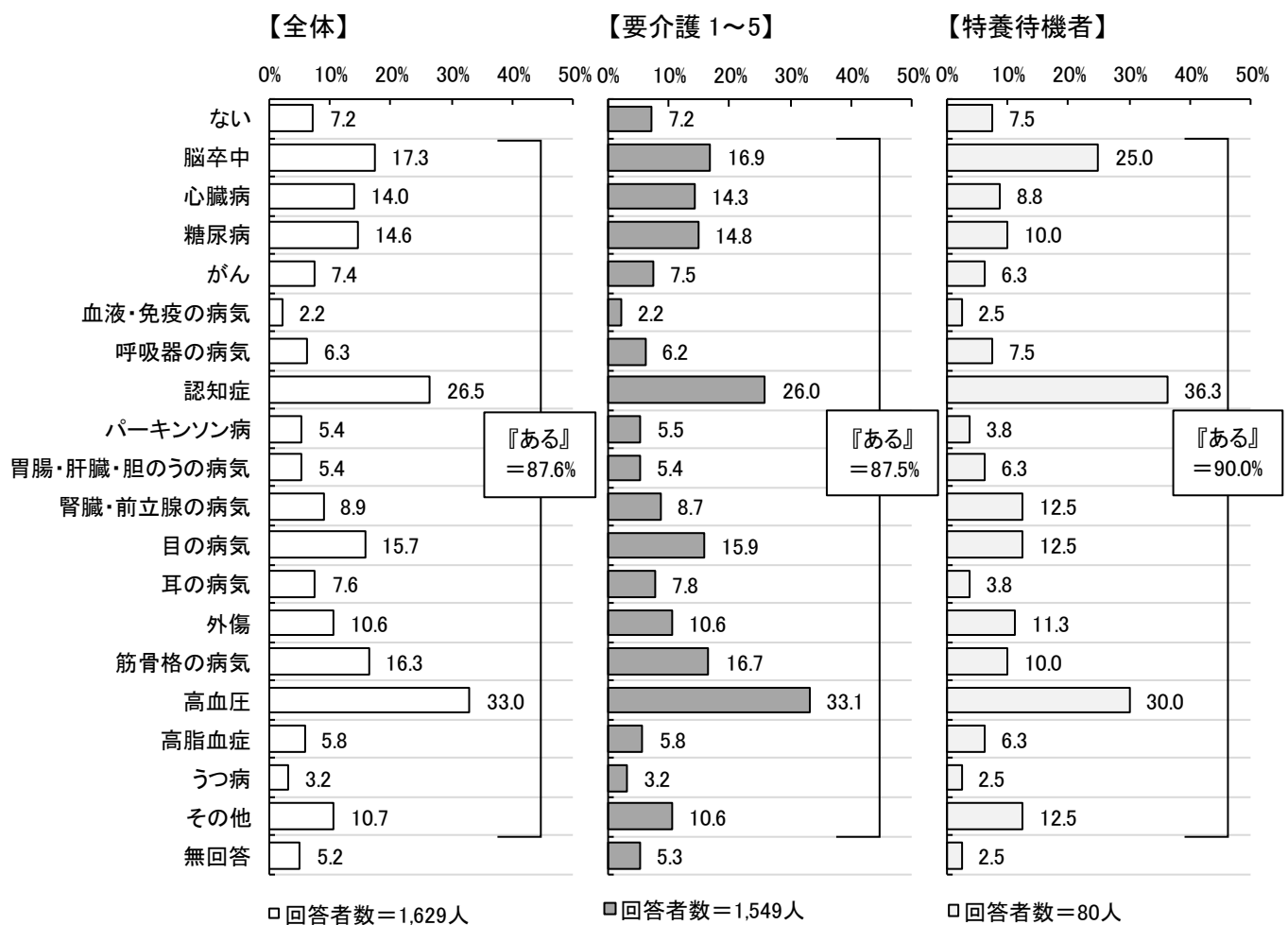
問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(当てはまるもの全てに○)

治療中の病気や後遺症のある病気について、第3位までをみると、要介護1～5は、「高血圧」(33.1%)が最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」(26.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.9%)となっている。

特養待機者は、「認知症(アルツハイマー病等)」(36.3%)が最も高く、次いで「高血圧」(30.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(25.0%)となっている。

治療中の病気や後遺症が『ある』割合は、特養待機者(90.0%)が要介護1～5(87.5%)を2.5ポイント上回っている。

図表 3-1 治療中の病気や後遺症のある病気(複数回答)



※『ある』=100%-「ない」-「無回答」

要介護 1～5 の治療中の病気や後遺症のある病気について、要介護度別でみると、介護度 4～5（重度）は、「脳卒中」「認知症」「パーキンソン病」において、介護度 1～3（中度）の割合を上回っている。

図表 3-2 治療中の病気や後遺症のある病気／要介護度【要介護 1～5】

		回答者数(人)	ない	脳卒中	心臓病	糖尿病	がん	血液・免疫の病気	呼吸器の病気	認知症
全体		1,549	7.2	16.9	14.3	14.8	7.5	2.2	6.2	26.0
要介護度別	介護度 1～3(中度)	1,074	7.1	15.5	16.1	16.1	8.4	2.3	6.8	23.3
	介護度 4～5(重度)	362	6.9	24.6	10.8	12.4	6.1	2.2	5.5	39.5
	わからない・その他	38	18.4	2.6	7.9	15.8	5.3	0.0	0.0	10.5

		回答者数(人)	パーキンソン病	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	目の病気	耳の病気	外傷(転倒・骨折等)	筋骨格の病気	高血圧
全体		1,549	5.5	5.4	8.7	15.9	7.8	10.6	16.7	33.1
要介護度別	介護度 1～3(中度)	1,074	4.9	6.0	9.4	18.2	9.0	11.4	19.9	36.9
	介護度 4～5(重度)	362	8.3	3.9	6.9	10.2	5.0	10.5	10.8	26.2
	わからない・その他	38	2.6	0.0	7.9	10.5	5.3	5.3	2.6	26.3

		回答者数(人)	高脂血症(脂質異常)	うつ病	その他	無回答
全体		1,549	5.8	3.2	10.6	5.3
要介護度別	介護度 1～3(中度)	1,074	6.3	3.2	11.0	2.3
	介護度 4～5(重度)	362	5.2	3.9	10.8	3.3
	わからない・その他	38	5.3	0.0	7.9	10.5

(2) 要介護認定状況

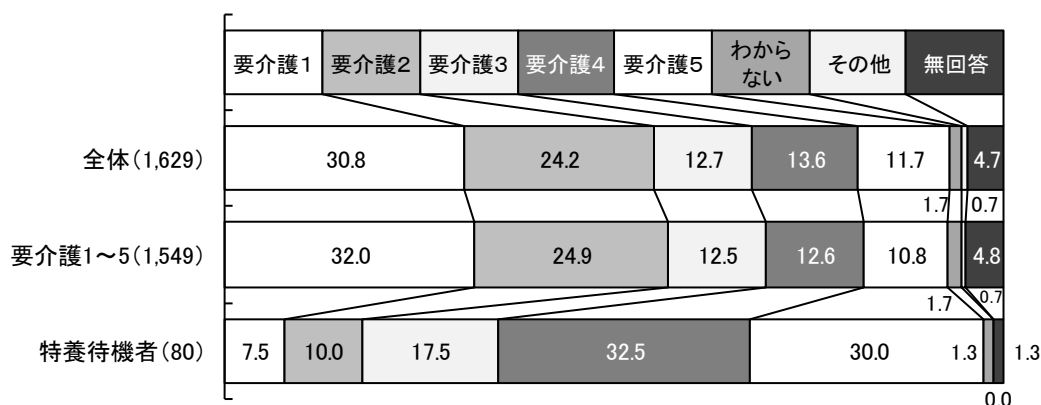
問8 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(〇は1つ)

要介護認定状況について、要介護1～5は、「要介護1」(32.0%)と「要介護2」(24.9%)の割合が高くなっている。

一方、特養待機者は、「要介護4」(32.5%)と「要介護5」(30.0%)の割合が高くなっている。また、「要介護1」と「要介護2」は、合わせて17.5%となっている。

また、要介護1～5の要介護認定状況について、年齢層別でみると、94歳以下までは「要介護1」の割合が最も高くなっているが、95～99歳では「要介護2」、100歳以上では「要介護4」の割合が最も高くなっている。

図表 3-3 要介護認定状況(単数回答)



図表 3-4 要介護認定状況／年齢層【要介護1～5】

	回答者数(人)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	その他	無回答	
全体	1,549	32.0	24.9	12.5	12.6	10.8	1.7	0.7	4.8	
年齢層別	65～69歳	62	27.4	25.8	12.9	9.7	12.9	3.2	3.2	4.8
	70～74歳	120	40.0	21.7	11.7	9.2	10.8	2.5	0.0	4.2
	75～79歳	249	35.3	21.3	13.3	14.5	12.0	0.8	0.4	2.4
	80～84歳	325	33.8	27.4	8.6	10.2	9.5	4.0	0.3	6.2
	85～89歳	396	34.1	27.0	11.1	10.4	9.3	1.0	1.0	6.1
	90～94歳	255	26.7	24.3	16.5	14.1	13.3	1.2	1.2	2.7
	95～99歳	90	20.0	27.8	15.6	24.4	7.8	0.0	0.0	4.4
	100歳以上	23	8.7	13.0	17.4	30.4	26.1	0.0	0.0	4.3

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

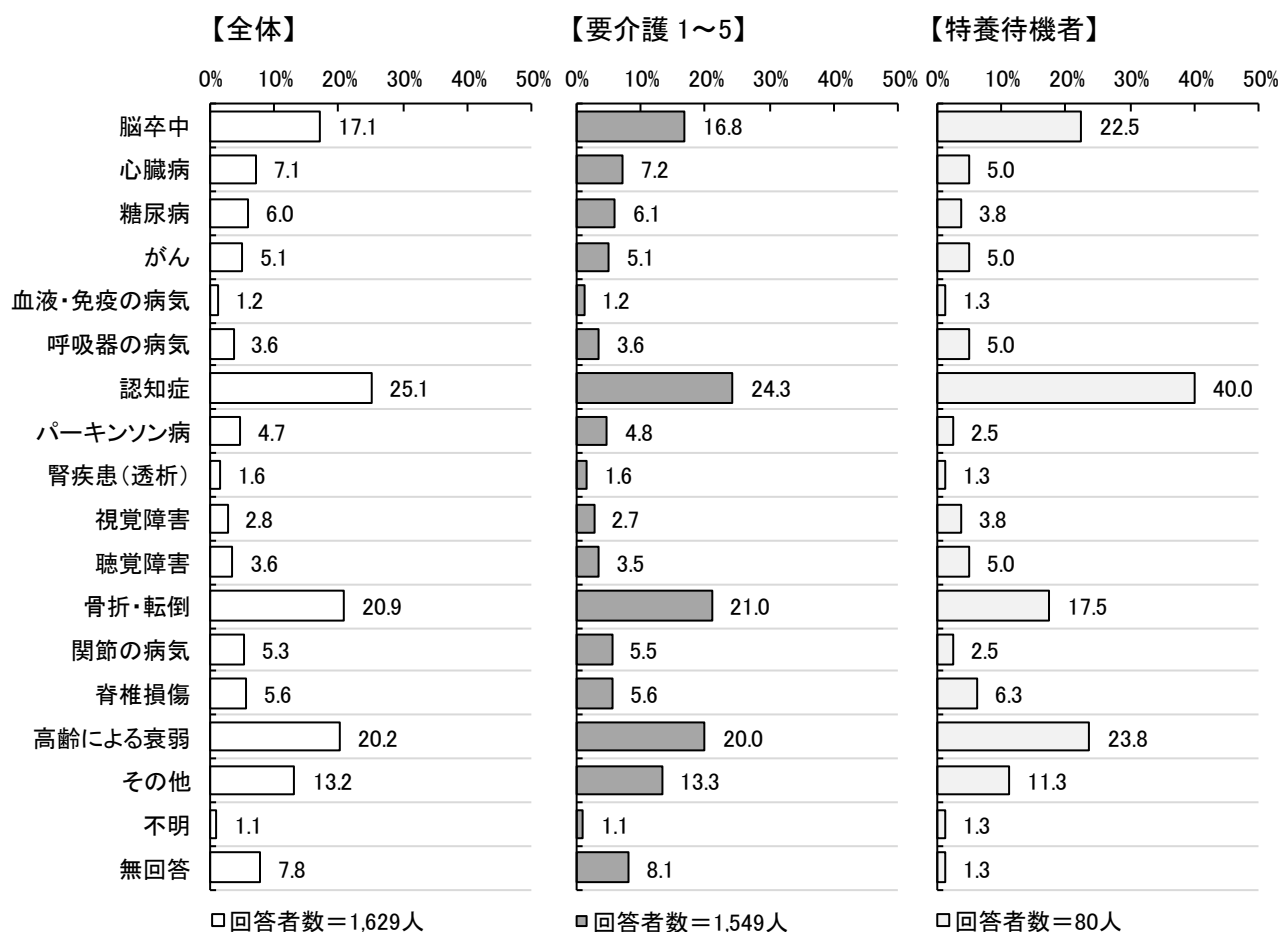
問9 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(当てはまるもの全てに○)

介護・介助が必要になった主な原因について、第3位までをみると、要介護1～5は、「認知症（アルツハイマー病等）」（24.3%）が最も高く、次いで「骨折・転倒」（21.0%）、「高齢による衰弱」（20.0%）となっている。

特養待機者は、「認知症（アルツハイマー病等）」（40.0%）が最も高く、次いで「高齢による衰弱」（23.8%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（22.5%）となっている。

また、「認知症（アルツハイマー病等）」は、特養待機者が要介護1～5を15.7ポイント上回っている。

図表 3-5 介護・介助が必要になった主な原因(複数回答)



要介護 1～5 の介護・介助が必要になった主な原因を年齢区分別で見ると、前期高齢者は「脳卒中」(28.0%) が最も高くなっている。一方、後期高齢者は、「認知症」(26.8%) が最も高くなっている。

図表 3-6 介護・介助が必要になった主な原因／年齢区分【要介護 1～5】

		回答者数(人)	脳卒中	心臓病	糖尿病	がん	血液・免疫の病気	呼吸器の病気	認知症	パーキンソン病	腎疾患(透析)
全体		1,549	16.8	7.2	6.1	5.1	1.2	3.6	24.3	4.8	1.6
年齢区分	前期高齢者	182	28.0	4.9	9.9	9.3	1.6	5.5	8.8	8.8	3.3
	後期高齢者	1,338	15.2	7.5	5.6	4.6	1.2	3.3	26.8	4.2	1.4

		回答者数(人)	視覚障害	聴覚障害	骨折・転倒	関節の病気(リウマチ等)	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		1,549	2.7	3.5	21.0	5.5	5.6	20.0	13.3	1.1	8.1
年齢区分	前期高齢者	182	2.2	1.1	13.2	3.3	6.6	3.8	15.9	3.3	8.2
	後期高齢者	1,338	2.8	3.8	22.1	5.9	5.4	22.3	13.1	0.8	7.9

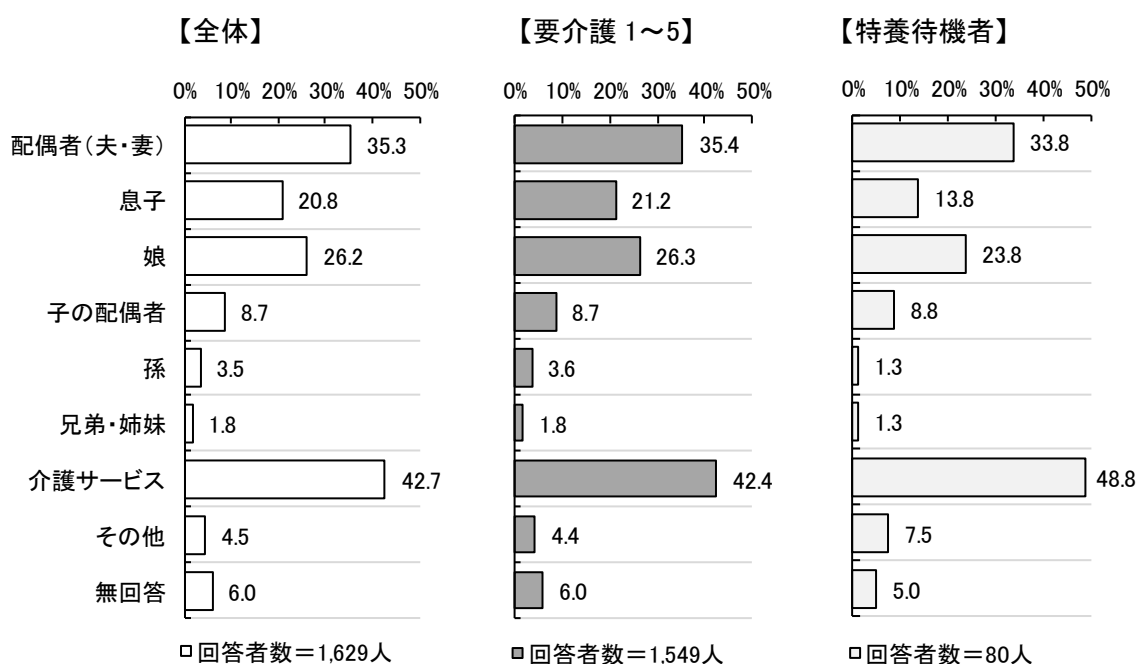
(4) 主な介護者

問10 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(当てはまるもの全てに○)

主な介護者について、要介護1～5は、「介護サービス」(42.4%)が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」(35.4%)、「娘」(26.3%)と続いている。

特養待機者も、「介護サービス」(48.8%)が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」(33.8%)、「娘」(23.8%)と続いている。

図表 3-7 主な介護者(複数回答)



現在の住まい【自宅】の方で、要介護1～5の主な介護者を同居者別で見ると、65歳以上の方が介護に関わっている世帯は、“高齢者夫婦のみ世帯(配偶者65歳以上)”“65歳以上の配偶者、きょうだい、息子・娘との同居世帯”を合わせた469世帯で、全体の43.7%となっている。

図表 3-8 主な介護者／同居者【要介護1～5】

		回答者数(人)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービス	その他	無回答
全体		1,073	43.7	24.3	29.7	10.3	4.3	1.5	33.1	2.6	5.8
同居者別	高齢単身世帯 (同居者はいない)	150	2.0	23.3	31.3	8.7	6.0	2.0	65.3	7.3	8.0
	高齢者夫婦のみ世帯 (配偶者65歳以上)	372	82.0	7.3	10.5	1.3	0.5	0.5	24.5	1.6	7.3
	65歳以上の配偶者、きょうだい、息子・娘との同居世帯	97	6.2	47.4	42.3	19.6	2.1	6.2	29.9	1.0	4.1
	64歳以下の同居者がいる世帯	449	34.3	33.6	42.8	16.3	7.3	1.1	30.1	2.2	3.8

※現在の住まいが【自宅】の方に限定して、算出している

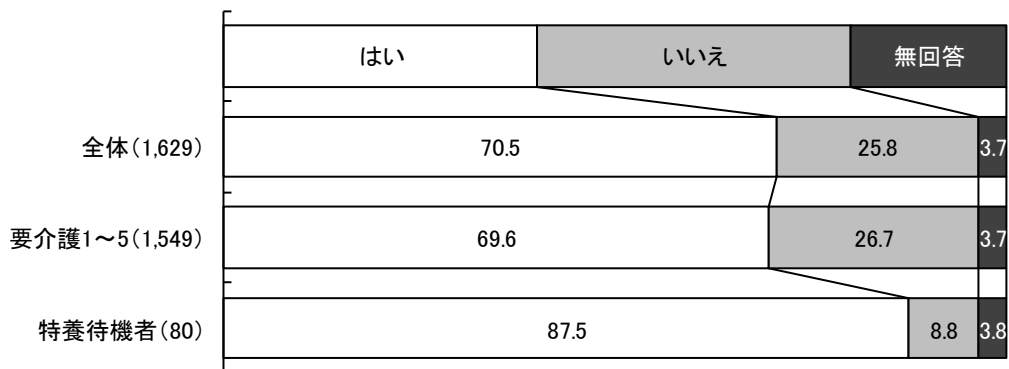
4. 認知機能について

(1) 認知機能

問 17 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)
問 18 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)
問 19 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

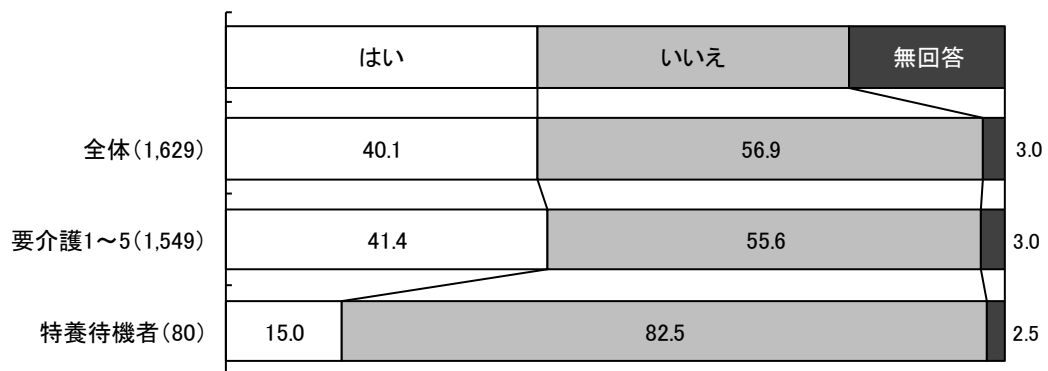
物忘れが多いと感じるかについて、要介護1～5は、「はい」が69.6%となっている。特養待機者は、「はい」が87.5%となっている。

図表 4-1 物忘れについて(単数回答)



電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「いいえ」の割合は特養待機者(82.5%)が要介護1～5(55.6%)を26.9%上回っている。

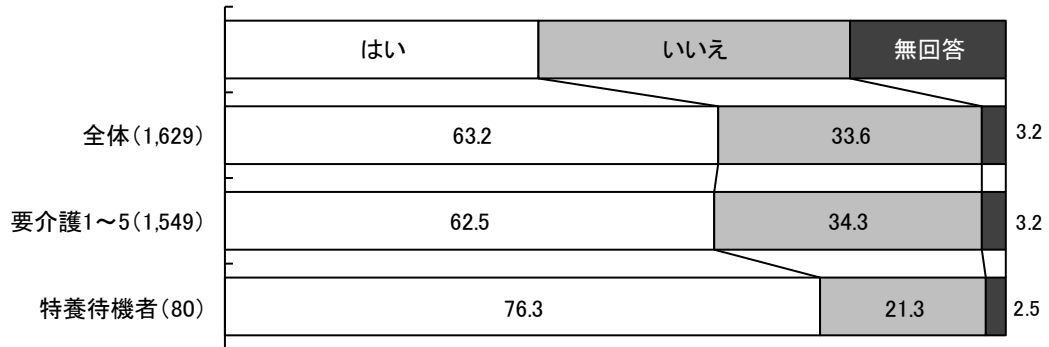
図表 4-2 電話について(単数回答)



今日が何月何日かわからないことがあるかについて、要介護1～5は、「はい」が62.5%となっている。

特養待機者は、「はい」が76.3%となっている。

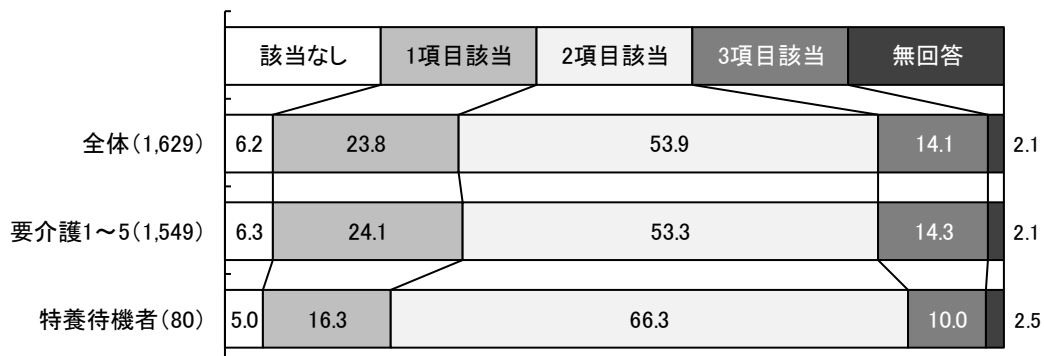
図表 4-3 日付について(単数回答)



認知機能の項目該当数について、「2項目該当」においては、特養待機者が66.3%となっている。

「3項目該当」においては、要介護1～5(14.3%)が特養待機者(10.0%)を4.3ポイント上回っている。

図表 4-4 認知機能の項目該当数



要介護1～5の年齢区分別にみると、「該当なし」「1項目該当」は前期高齢者のほうが割合が高く、「2項目該当」「3項目該当」は後期高齢者のほうが高くなっている。

図表 4-5 認知機能の項目該当数/年齢区分【要介護1～5】

		回答者数(人)	該当なし	1項目該当	2項目該当	3項目該当	無回答
全体		1,549	6.3	24.1	53.3	14.3	2.1
年齢区分	前期高齢者	182	10.4	41.2	35.7	10.4	2.2
	後期高齢者	1,338	5.6	21.9	55.8	14.9	1.9

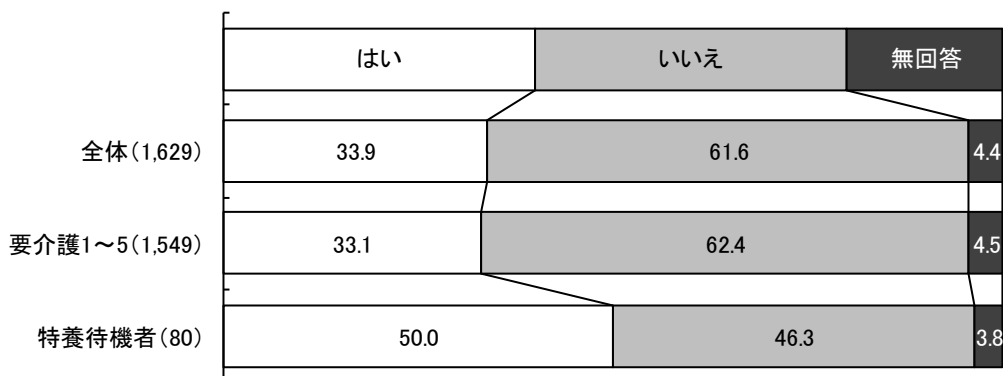
(2) 認知症

問 20	あなたは病院で認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)
問 20-1	問 20 で「1. はい」と回答した方におたずねします。 認知症の症状を理由に、次のサービス等の利用を断られたことはありますか。 (当てはまるもの全てに○)

認知症と診断されたことがあるかについて、要介護1～5は、「はい」が33.1%となっている。特養待機者は、「はい」が50.0%で、要介護1～5を16.9ポイント上回っている。

また、要介護1～5を年齢区分別でみると、認知症と診断された方（「はい」と回答）は、前期高齢者が9.3%なのに対し、後期高齢者では36.7%と著しく高くなっている。

図表 4-6 認知症診断(単数回答)



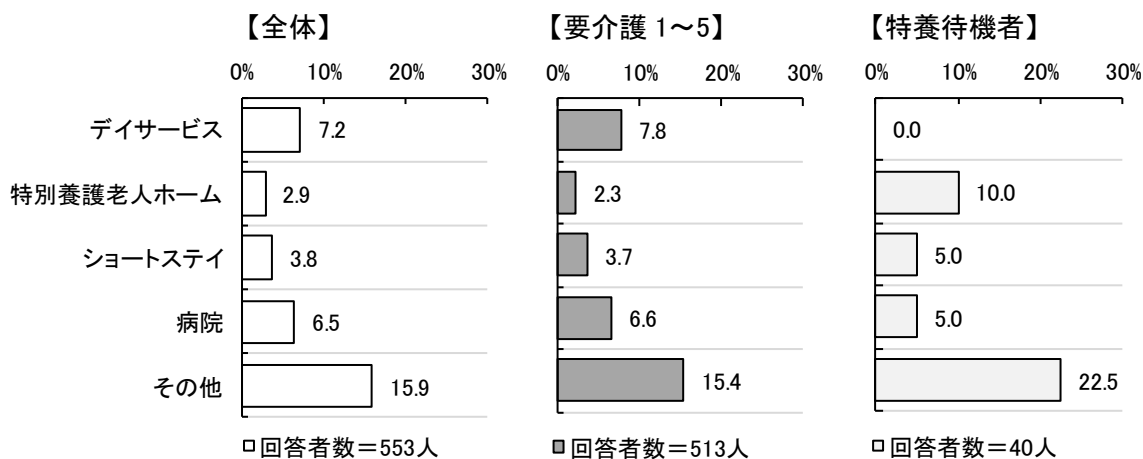
図表 4-7 認知症診断/年齢区分【要介護1～5】

		回答者数(人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,549	33.1	62.4	4.5
年齢区分	前期高齢者	182	9.3	86.3	4.4
	後期高齢者	1,338	36.7	59.0	4.3

認知症と診断された方に、認知症を理由にサービス利用を断られたサービスについてたずねたところ、要介護1～5は、「デイサービス」(7.8%)が最も高く、次いで「病院」(6.6%)、「ショートステイ」(3.7%)となっている。

特養待機者は、「特別養護老人ホーム」(10.0%)が最も高く、次いで「ショートステイ」「病院」(ともに5.0%)となっている。

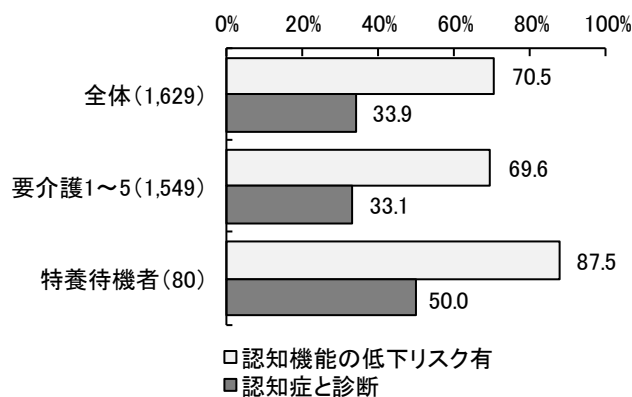
図表 4-8 認知症を理由にサービス利用を断られたサービス(複数回答)



(3) 認知機能低下リスクと認知症

認知機能低下リスクが有る方(物忘れが多いと感じるに「はい」と回答した方)と認知症と診断された方をまとめてみると、特養待機者は、「認知機能の低下リスク有」が87.5%、「認知症と診断」が50.0%で、ともに要介護1～5の割合を上回っている。

図表 4-9 認知機能低下リスクと認知症(単数回答)



(4) 認知症相談窓口の認知度

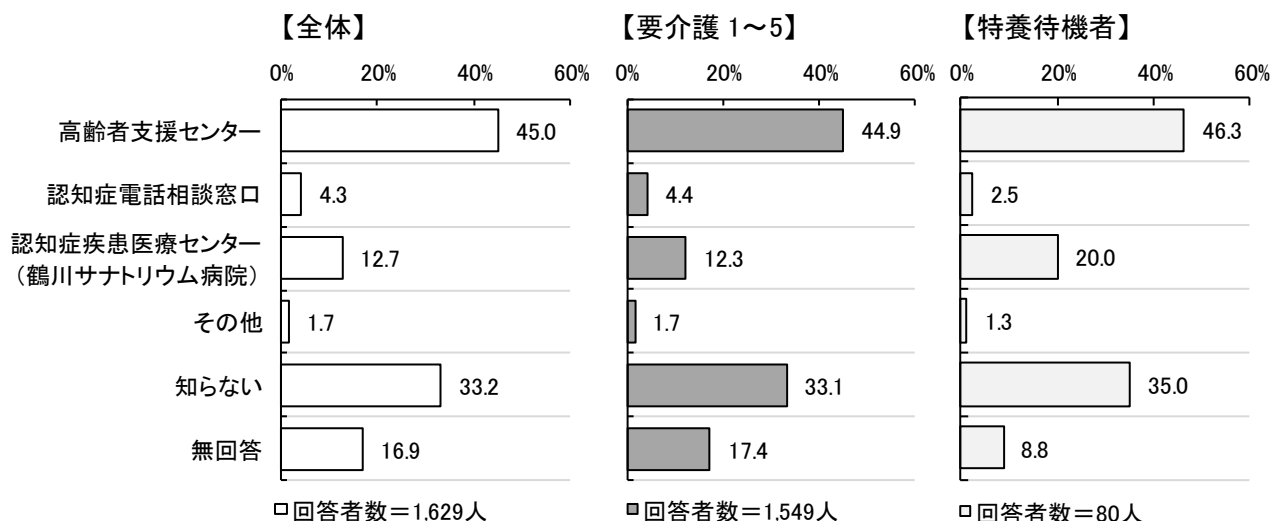
問 21 次の認知症に関する相談窓口をご存じですか。(当てはまるもの全てに○)

認知症相談窓口の認知度について、要介護1～5は、「高齢者支援センター」(44.9%)が最も高く、次いで「認知症疾患医療センター(鶴川サナトリウム病院)」(12.3%)、「認知症電話相談窓口」(4.4%)となっている。

特養待機者も、「高齢者支援センター」(46.3%)が最も高く、「認知症疾患医療センター(鶴川サナトリウム病院)」(20.0%)、「認知症電話相談窓口」(2.5%)となっている。

「認知症疾患医療センター(鶴川サナトリウム病院)」は、特養待機者(20.0%)が要介護1～5(12.3%)を7.7ポイント上回っている。

図表 4-10 認知症相談窓口の認知度(複数回答)



5. 在宅療養について

(1) 在宅療養希望の有無

問 23 あなたが、病気やケガで長期の治療、療養が必要になった場合、在宅療養を希望しますか。(○は1つ)

在宅療養希望の有無について、要介護 1～5 は、「希望するが実現は難しいと思う」(36.8%) が最も高く、次いで「希望するし実現可能だと思う(現在、在宅療養中を含む)」(32.4%)、「希望しない」(19.9%) となっている。

特養待機者は、「希望するが実現は難しいと思う」(42.5%) が最も高く、次いで「希望しない」(22.5%)、「希望するし実現可能だと思う(現在、在宅療養中を含む)」(18.8%) となっている。

図表 5-1 在宅療養希望の有無(単数回答)

	希望するし 実現可能だと思う	希望するが 実現は難しいと思う	希望しない	無回答
全体(1,629)	31.7	37.1	20.1	11.1
要介護1～5(1,549)	32.4	36.8	19.9	10.8
特養待機者(80)	18.8	42.5	22.5	16.3

※在宅療養とは、自宅で訪問診療などの医療サービスや訪問介護等の介護サービスを受けながら、療養生活を送ることをいう

(2) 在宅療養について不安に感じること

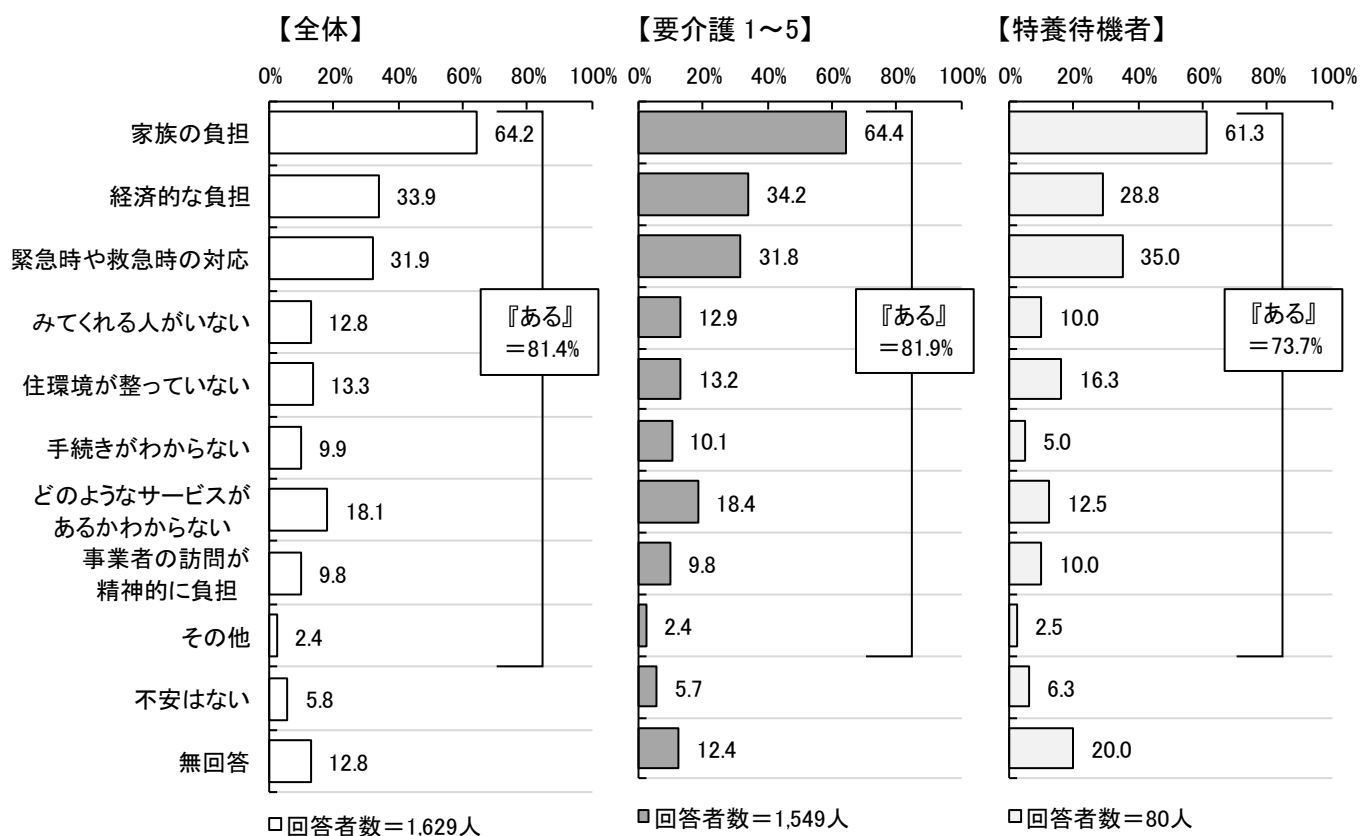
問 24 在宅療養について不安に感じることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

在宅療養について不安に感じることにに関して、要介護 1～5 は、「家族の負担（肉体的・精神的）」(64.4%) が最も高く、次いで「経済的な負担」(34.2%)、「緊急時や救急時の対応」(31.8%) と続いている。

特養待機者も、「家族の負担（肉体的・精神的）」(61.3%) が最も高く、次いで「緊急時や救急時の対応」(35.0%)、「経済的な負担」(28.8%) と続いている。

不安に感じるものが『ある』をみると、要介護 1～5 (81.9%) が特養待機者 (73.7%) を 8.2 ポイント上回っている。

図表 5-2 在宅療養について不安に感じること(複数回答)



(3) 訪問診療の利用状況

問 25 訪問診療（訪問看護を含む）を利用していますか。（○は1つ）

訪問診療の利用状況について、要介護1～5は、「利用していない」が59.5%、「利用している」が32.2%となっている。

特養待機者は、「利用していない」が51.3%、「利用している」が32.5%となっている。

図表 5-3 訪問診療の利用状況(単数回答)

	利用している	利用していない	無回答
全体(1,629)	32.2	59.1	8.7
要介護1～5(1,549)	32.2	59.5	8.3
特養待機者(80)	32.5	51.3	16.3

6. 介護保険サービスについて

(1) 利用状況

問 26 現在、利用している介護保険サービスを、下記の「介護保険サービス一覧」からお答えください。(当てはまるものを全てを回答)
また、利用されているサービスの満足度をお答えいただき、「3. 不満である」と回答されたサービスについては、その理由をお答えください。(自由記載)

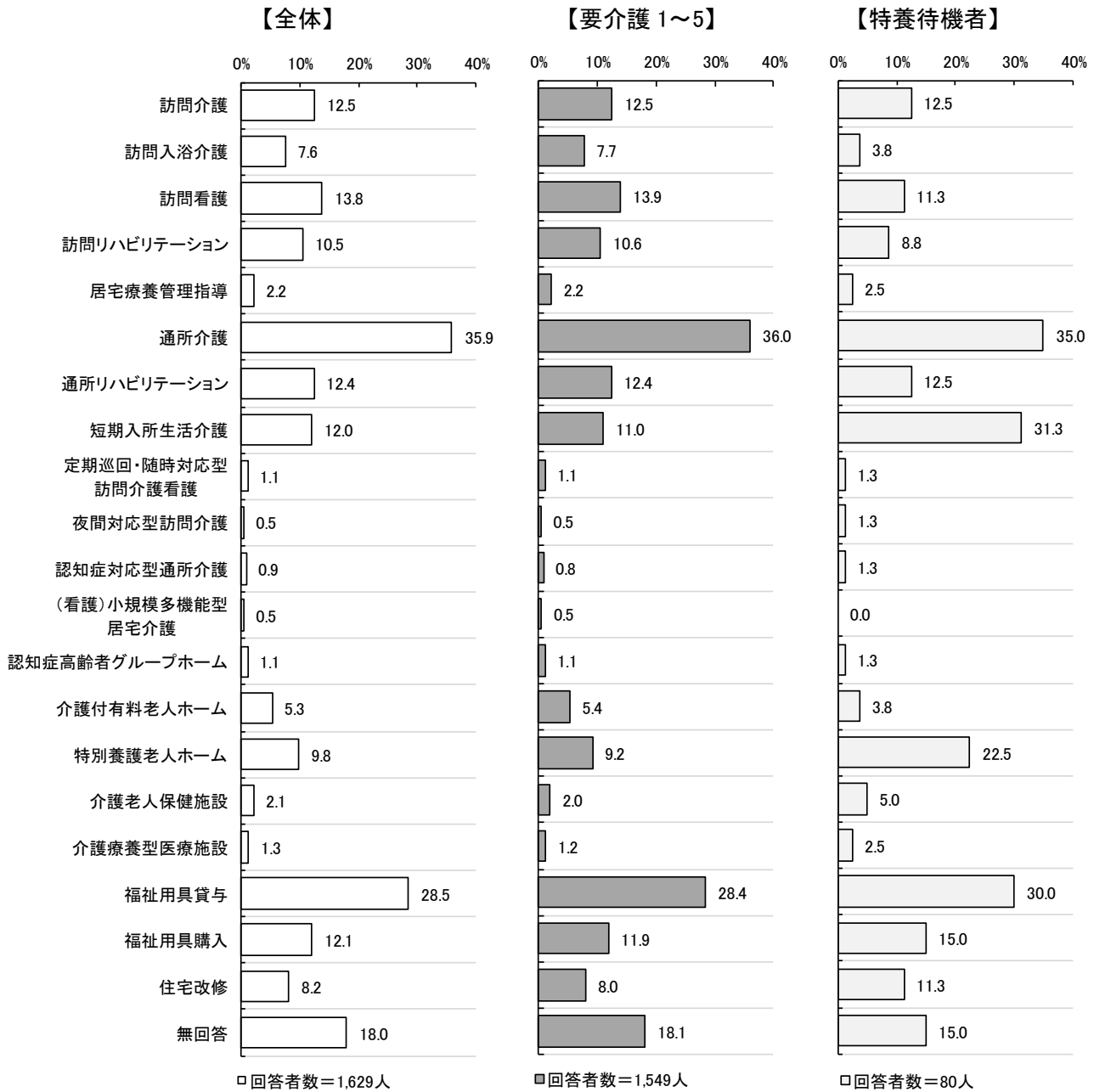
介護保険サービスの利用状況について、要介護1～5は、「通所介護(デイサービス)」(36.0%)が最も高く、次いで「福祉用具貸与」(28.4%)、「訪問看護」(13.9%)、「訪問介護」(12.5%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(12.4%)、「福祉用具購入」(11.9%)、「短期入所生活介護(ショートステイ)」(11.0%)、「訪問リハビリテーション」(10.6%)と続いている。

特養待機者は、「通所介護(デイサービス)」(35.0%)が最も高く、次いで「短期入所生活介護(ショートステイ)」(31.3%)、「福祉用具貸与」(30.0%)、「特別養護老人ホーム」(22.5%*)、「福祉用具購入」(15.0%)、「訪問介護」(12.5%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(12.5%)、「訪問看護」「住宅改修」(ともに11.3%)と続いている。

「短期入所生活介護(ショートステイ)」の割合は、特養待機者(31.3%)が要介護1～5(11.0%)を大きく上回っている。

※特養待機者は、2019年4月1日時点の調査結果に基づき対象者を抽出しているため、特養待機者の「特別養護老人ホーム」には、2019年4月1日以後に入所した方が含まれる。

図表 6-1 利用状況(複数回答)

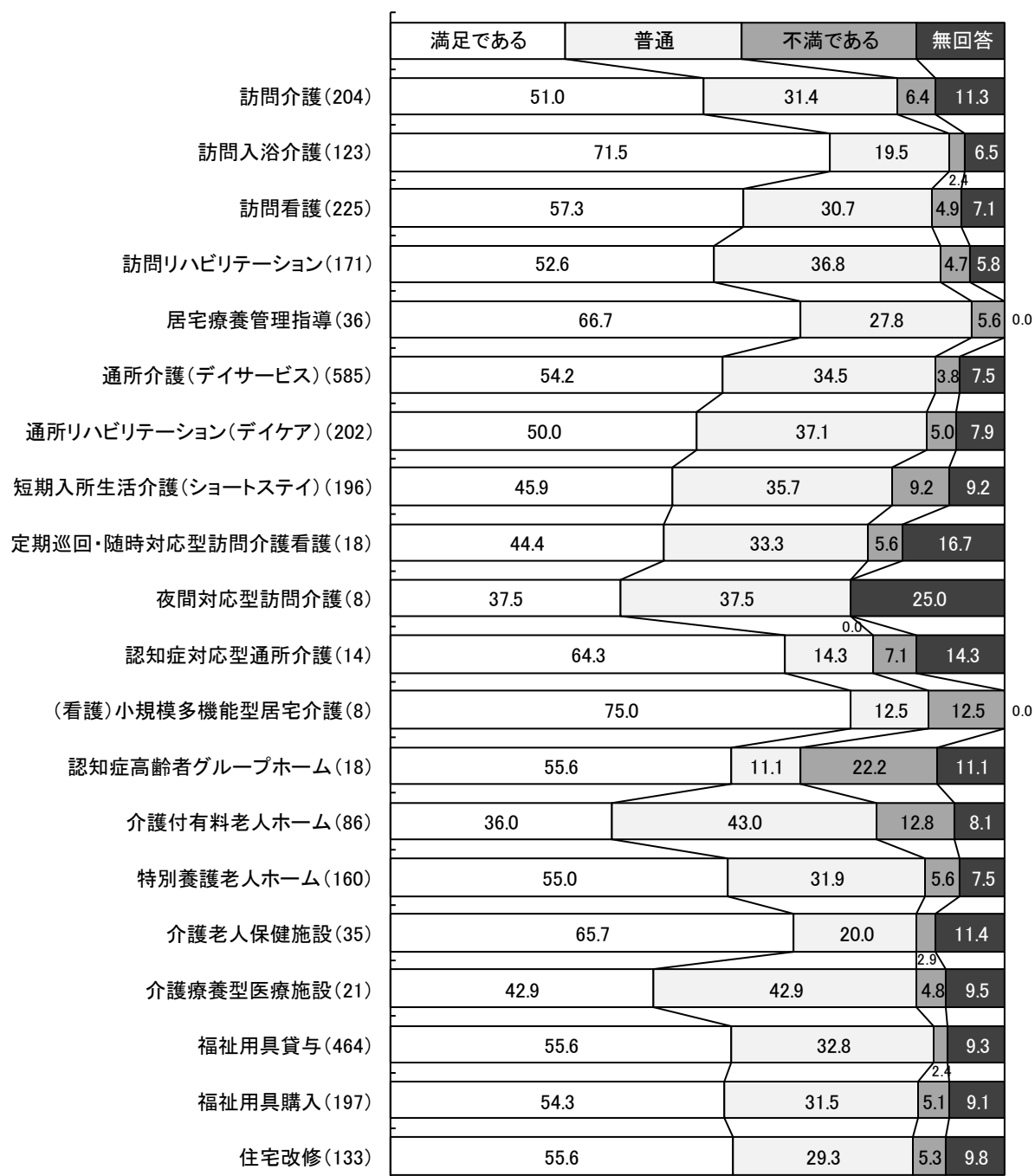


(2) 満足度

介護保険サービスの満足度【全体】について、「満足である」が6割を超えているのは、(看護)小規模多機能型居宅介護(75.0%)、訪問入浴介護(71.5%)、居宅療養管理指導(66.7%)、介護老人保健施設(65.7%)、認知症対応型通所介護(64.3%)である。

一方、「不満である」が1割を超えているのは、認知症高齢者グループホーム(22.2%)、介護付有料老人ホーム(12.8%)、(看護)小規模多機能型居宅介護(12.5%)である。

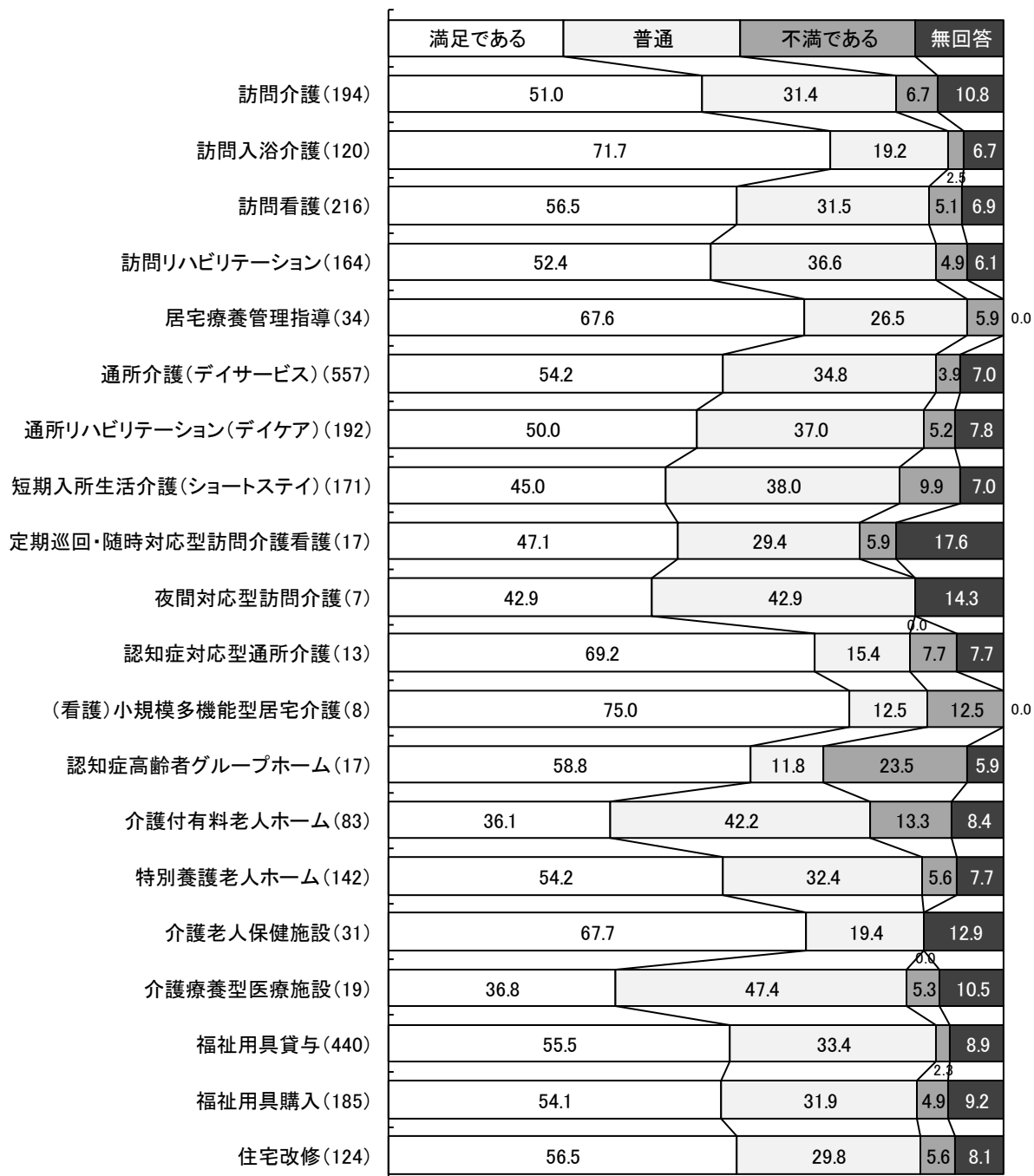
図表 6-2 介護保険サービスの満足度【全体】(各単数回答)



介護保険サービスの満足度【要介護1～5】について、「満足である」が6割を超えているのは、(看護)小規模多機能型居宅介護(75.0%)、訪問入浴介護(71.7%)、認知症対応型通所介護(69.2%)、介護老人保健施設(67.7%)、居宅療養管理指導(67.6%)である。

一方、「不満である」が1割を超えているのは、認知症高齢者グループホーム(23.5%)、介護付有料老人ホーム(13.3%)、(看護)小規模多機能型居宅介護(12.5%)である。

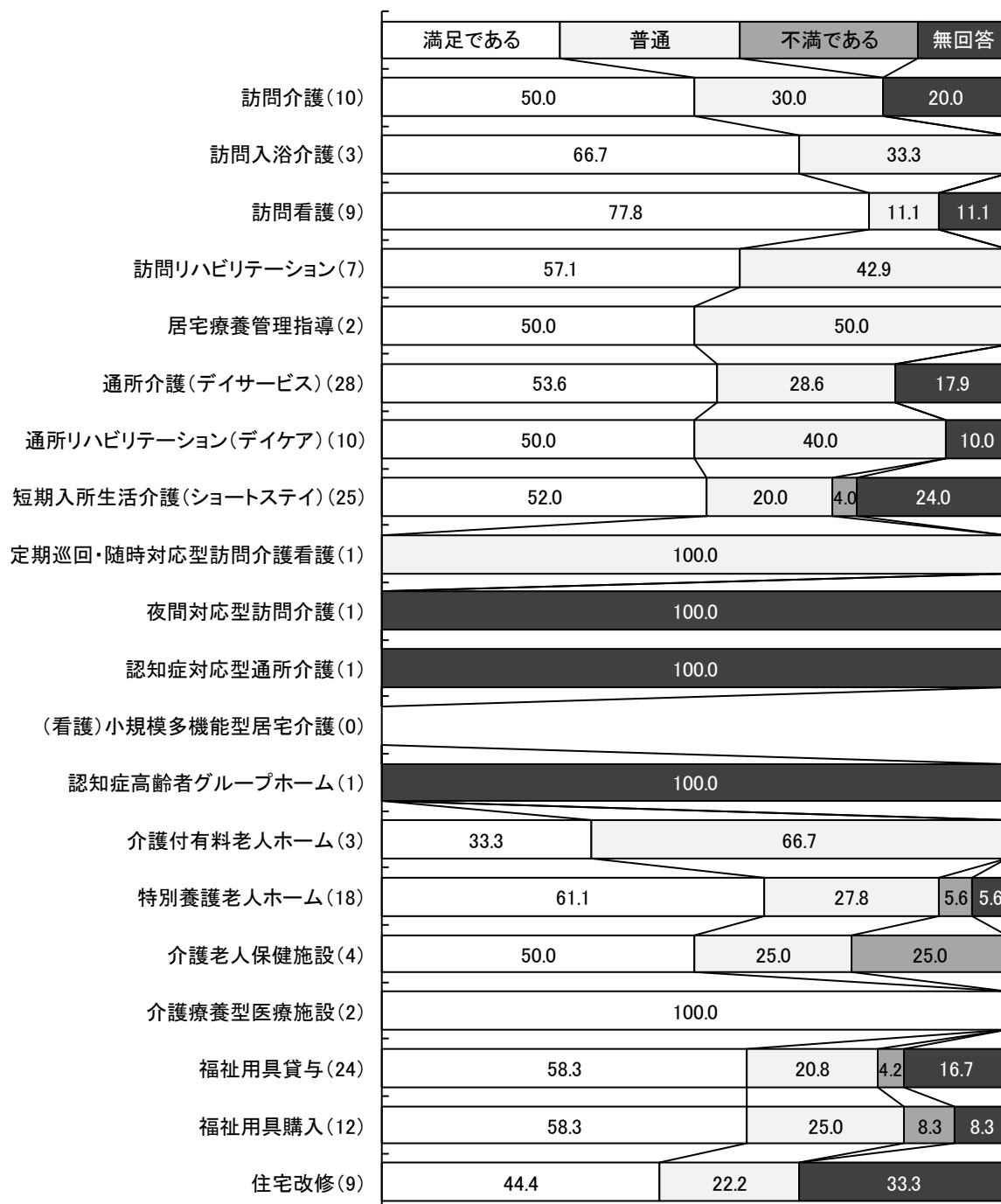
図表 6-3 介護保険サービスの満足度【要介護1～5】(各単数回答)



介護保険サービスの満足度【特養待機者】について、「満足である」が6割を超えているのは、介護療養型医療施設（100.0%）、訪問看護（77.8%）、訪問入浴介護（66.7%）、特別養護老人ホーム（61.1%）である。

一方、「不満である」が1割を超えているのは、介護老人保健施設（25.0%）となっている。

図表 6-4 介護保険サービスの満足度【特養待機者】（各単数回答）



図表 6-5 「不満である」の理由

サービス名 【ご意見の件数】	不満の割合 (全体)	不満の理由(抜粋、一部要約)
訪問介護【10件】	6.4%	<ul style="list-style-type: none"> 希望の日時に来てもらえないことが多い。 時間が足りない。 お願い事をしても、それはやれないことになっていると言うことが多い。
訪問入浴介護【2件】	2.4%	<ul style="list-style-type: none"> 回数が足りない。
訪問看護【10件】	4.9%	<ul style="list-style-type: none"> 決まった時間をすべて使わず、切り上げてしまう。 訪問頻度が少なく、時間も短い。 定時での依頼しかできない。
訪問リハビリテーション【7件】	4.7%	<ul style="list-style-type: none"> 回数を増やしたいが、費用が高く頻繁に利用できない。 時間が短い。
通所介護 (デイサービス)【20件】	3.8%	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員が少ない。 担当者により差異がある。 積極的に利用したいと思うサービスが少ない。 時間が短い。
通所リハビリテーション (デイケア)【8件】	5.0%	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員が不足している。 回数を増やしたいが、満員で空きがない。 車に乗っている時間が長い時がある。
短期入所生活介護 (ショートステイ)【17件】	9.2%	<ul style="list-style-type: none"> 急な時に利用できない。 料金が高い。特に室代が大きな負担になる。 家族と離れて、1人になるのが不安。
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護【1件】	5.6%	<ul style="list-style-type: none"> 費用負担が大きい。
認知症対応型通所介護【1件】	7.1%	<ul style="list-style-type: none"> 担当者により差異がある。
(看護)小規模多機能型 居宅介護【1件】	12.5%	<ul style="list-style-type: none"> 時間が足りない。
認知症高齢者 グループホーム【4件】	22.2%	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足。 費用負担が苦しい。
介護付有料老人ホーム【10件】	12.8%	<ul style="list-style-type: none"> 費用が高額である。 職員数が不足していて十分な介護が得られない。
特別養護老人ホーム【6件】	5.6%	<ul style="list-style-type: none"> なかなか意思疎通がとりづらい。 自宅から遠い。 介護職の方の人数不足。
介護療養型医療施設【1件】	4.8%	<ul style="list-style-type: none"> 費用が高く、特養を望むがかなわない。
福祉用具貸与【9件】	2.4%	<ul style="list-style-type: none"> 高額である。 もう少し貸料を下げしてほしい。
福祉用具購入【9件】	5.1%	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身体や使用法にあまり合わない。 靴のサイズ変更できず、使用できない。
住宅改修【6件】	5.3%	<ul style="list-style-type: none"> 利用してしまうと、また利用できない。 複数会社から選定できるとよい。

(3) 利用検討中のサービスや施設等

問 27 現在利用中のサービス以外で、利用を検討しているサービスや施設などがありますか。お答えください。(当てはまるもの全てに○)

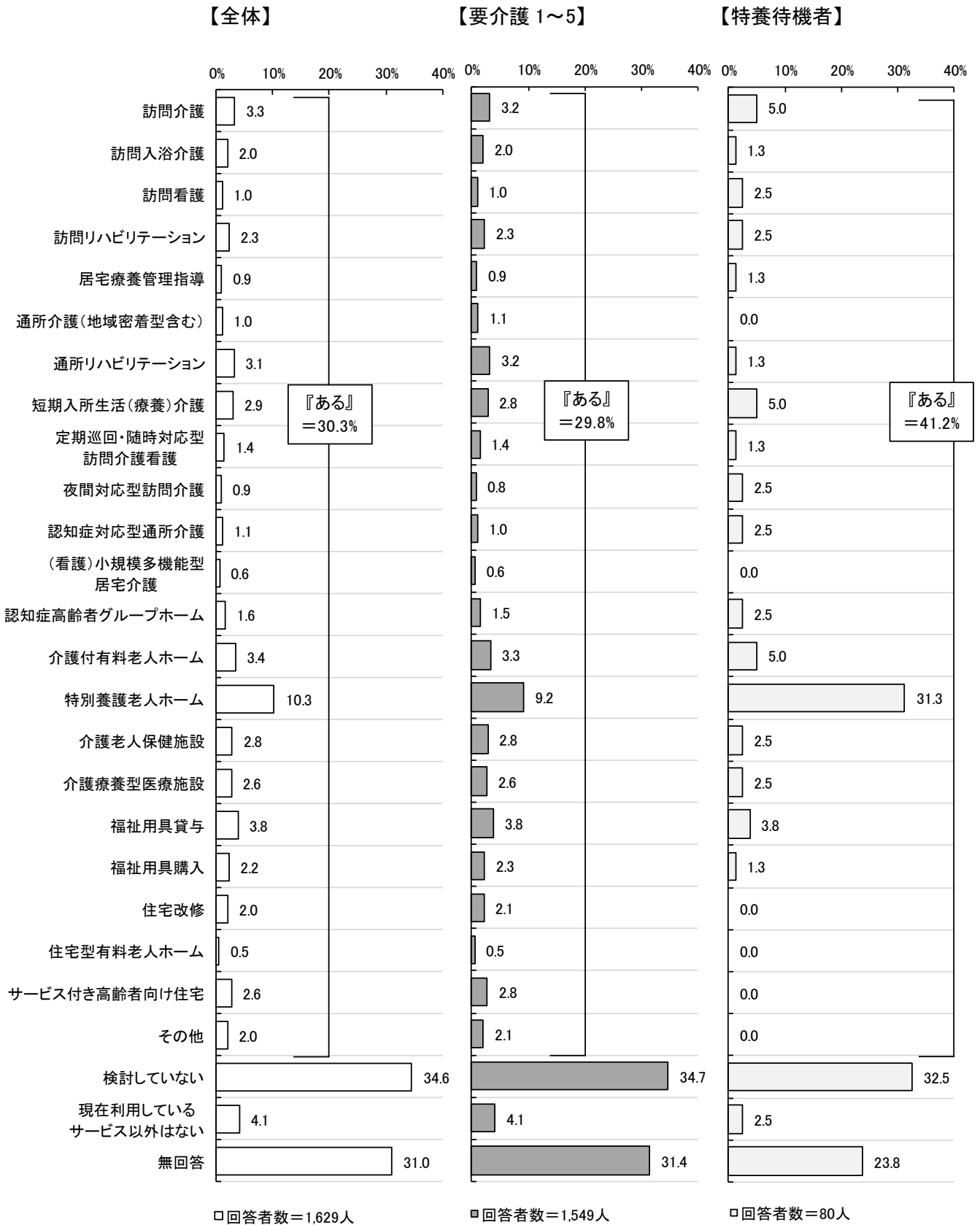
利用検討中のサービスや施設等について、要介護 1～5 は、「特別養護老人ホーム」(9.2%) が最も高く、次いで「福祉用具貸与」(3.8%)、「介護付有料老人ホーム」(3.3%)、「通所リハビリテーション」(3.2%)、「訪問介護」(3.2%) と続いている

特養待機者は、「特別養護老人ホーム」(31.3%) が最も高く、3 割を超えている。次いで「訪問介護」(5.0%)、「短期入所生活(療養)介護」(5.0%)、「介護付有料老人ホーム」(5.0%)、「福祉用具貸与」(3.8%) と続いている。

要介護 1～5 が特養待機者を上回っているのは、「サービス付き高齢者向け住宅」「住宅改修」「通所リハビリテーション」「通所介護(地域密着型含む)」「福祉用具購入」「訪問入浴介護」「(看護)小規模多機能型居宅介護」「住宅型有料老人ホーム」「介護老人保健施設」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「介護療養型医療施設」となっている。

特養待機者が要介護 1～5 を上回っているのは、「特別養護老人ホーム」「短期入所生活(療養)介護」「訪問介護」「夜間対応型訪問介護」「介護付有料老人ホーム」「訪問看護」「認知症対応型通所介護」「認知症高齢者グループホーム」「居宅療養管理指導」「訪問リハビリテーション」となっている。

図表 6-6 利用検討中のサービスや施設等(複数回答)



※ 『ある』 = 100% - 「検討していない」 - 「現在利用しているサービス以外はない」 - 「無回答」

7. 高齢者支援センターについて

(1) 高齢者支援センターの認知度

問 30 高齢者支援センター※を知っていますか。(○は1つ)

高齢者支援センターの認知度について、要介護 1～5 は、「知っており、高齢者支援センターの場所も知っている」(44.5%) が最も高く、次いで「知らない」(24.6%)、「知っているが、どこにあるかは知らない」(21.4%) となっている。

特養待機者も「知っており、高齢者支援センターの場所も知っている」(43.8%) が最も高く、次いで「知らない」(27.5%)、「知っているが、どこにあるかは知らない」(17.5%) となっている。

「知らない」は、特養待機者(27.5%) が要介護 1～5(24.6%) を 2.9 ポイント上回っている。

図表 7-1 高齢者支援センターの認知度(単数回答)

	知らない	知っているが、 どこにあるかは知らない	知っており、高齢者支援 センターの場所も知っている	無回答
全体(1,629)	24.7	21.2	44.5	9.5
要介護1～5(1,549)	24.6	21.4	44.5	9.4
特養待機者(80)	27.5	17.5	43.8	11.3

※高齢者支援センターとは介護保険法に基づき設置されている、高齢者の方のための総合相談窓口をいう。

(2) 虐待に関する相談先の認知度

問 31 虐待を受けたとき、または高齢者の虐待を見たとき、相談できる場所を知っていますか。(〇は1つ)

虐待に関する相談先の認知度について、要介護1～5は、「知らない」が67.9%、「知っている」が19.2%となっている。

特養待機者は、「知らない」が62.5%、「知っている」が26.3%となっている。

「知っている」は、特養待機者(26.3%)が要介護1～5(19.2%)を7.1ポイント上回っている。

図表 7-2 虐待に関する相談先の認知度(単数回答)

	知っている	知らない	無回答
全体(1,629)	19.6	67.6	12.8
要介護1～5(1,549)	19.2	67.9	12.9
特養待機者(80)	26.3	62.5	11.3

8. 地域包括ケアシステムの考え方について

(1) 地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの

問 32 住みなれた地域で暮らし続ける（地域包括ケアシステムの実現）ために、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。（当てはまるもの全てに○）

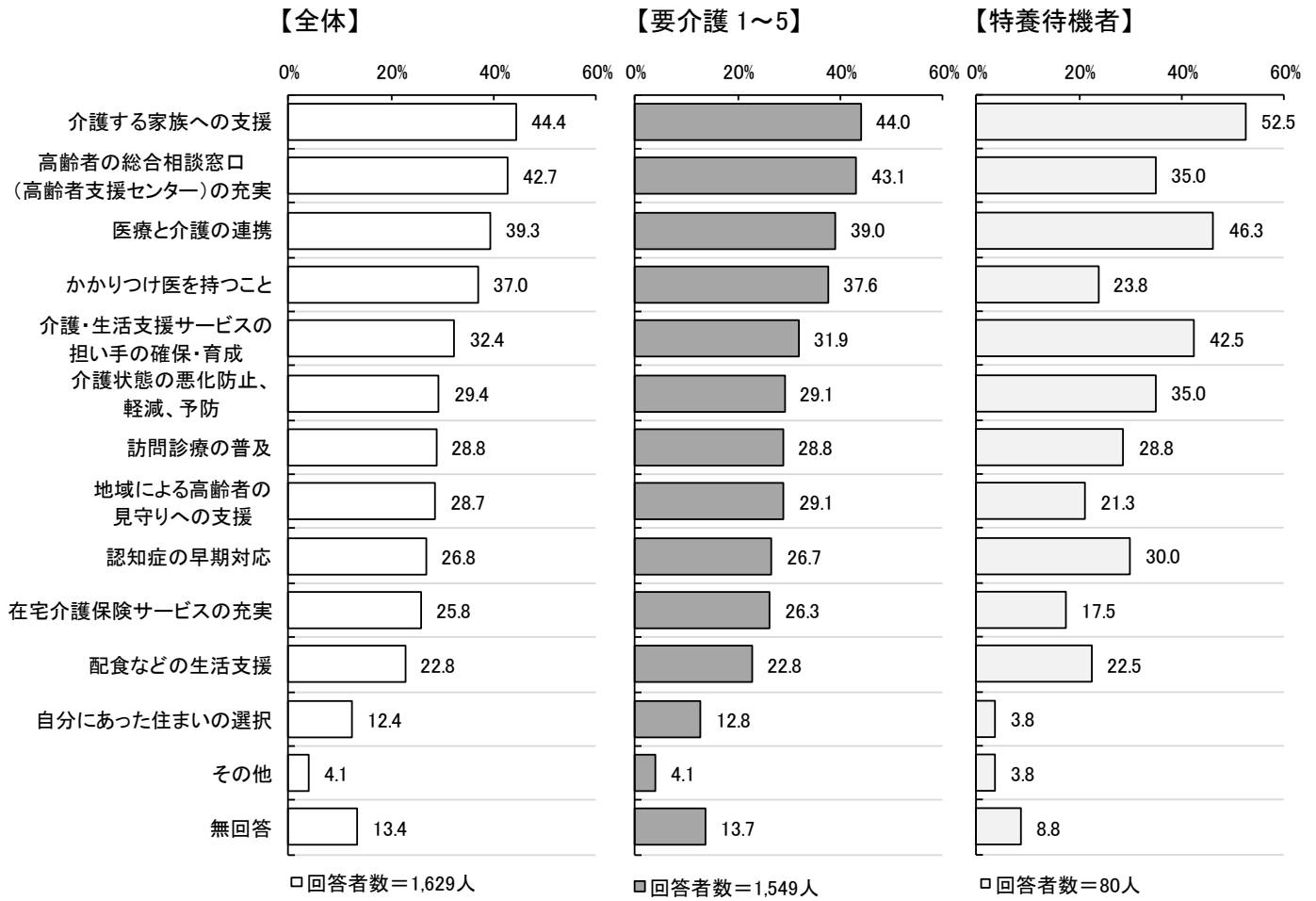
地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うものについて、要介護 1～5 は、「介護する家族への支援」（44.0%）が最も高く、次いで「高齢者の総合相談窓口（高齢者支援センター）の充実」（43.1%）、「医療と介護の連携」（39.0%）、「かかりつけ医を持つこと」（37.6%）、「介護・生活支援サービスの担い手の確保・育成」（31.9%）と続いている。

特養待機者は、「介護する家族への支援」（52.5%）が最も高く、次いで「医療と介護の連携」（46.3%）、「介護・生活支援サービスの担い手の確保・育成」（42.5%）、「高齢者の総合相談窓口（高齢者支援センター）の充実」（35.0%）、「介護状態の悪化防止、軽減、予防」（35.0%）、「認知症の早期対応」（30.0%）、「訪問診療の普及」（28.8%）と続いている。

要介護 1～5 が特養待機者を上回っているのは、「かかりつけ医を持つこと」「自分にあった住まいの選択」「在宅介護保険サービスの充実」「高齢者の総合相談窓口（高齢者支援センター）の充実」「地域による高齢者の見守りへの支援」「配食などの生活支援」となっている。

特養待機者が要介護 1～5 を上回っているのは、「介護・生活支援サービスの担い手の確保・育成」「介護する家族への支援」「医療と介護の連携」「介護状態の悪化防止、軽減、予防」「認知症の早期対応」となっている。

図表 8-1 地域包括ケアシステム実現のために重要だと思うもの(複数回答)



(2) 最期を迎えたい場所

問 28 将来、自分の最期はどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

将来、最後を迎えたい場所をたずねたところ、要介護1～5は、「自宅」(54.8%)が最も高く、次いで「介護施設」(16.3%)、「医療施設」(15.9%)となっている。

特養待機者は、「自宅」(38.8%)が最も高く、次いで「介護施設」(26.3%)、「医療施設」(21.3%)となっている。

「自宅」は、要介護1～5(54.8%)が特養待機者(38.8%)を16ポイント上回っている。

図表 8-2 最期を迎えたい場所(単数回答)

	自宅	介護施設	医療施設	無回答
全体(1,629)	54.0	16.8	16.2	13.0
要介護1～5(1,549)	54.8	16.3	15.9	13.0
特養待機者(80)	38.8	26.3	21.3	13.8

(3) これからの介護の望ましい形態

問 29 これからの介護についてどのような形が望ましいとお考えですか。(○は1つ)

これからの介護の望ましい形態について、要介護 1～5 は、「住み慣れた自宅を中心に様々な介護サービスを利用して生活する」が 57.7%で最も高く、「特別養護老人ホームやグループホーム等の施設に入所する」は 22.8%となっている。

一方、特養待機者は、「特別養護老人ホームやグループホーム等の施設に入所する」が 47.5%で最も高く、「住み慣れた自宅を中心に様々な介護サービスを利用して生活する」は 35.0%となっている。

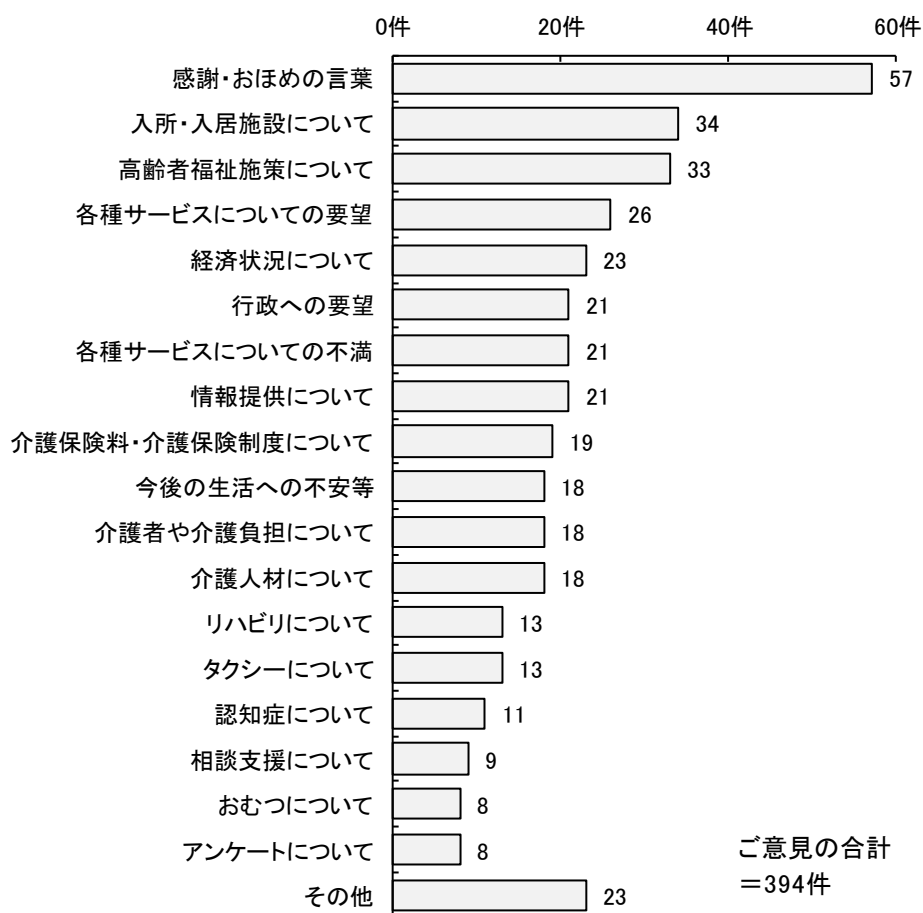
図表 8-3 これからの介護の望ましい形態(単数回答)

	住み慣れた自宅を中心に 様々な介護サービスを利用 して生活する	特別養護老人ホームやグ ループホーム等の施設に 入所する	その他	無回答
全体(1,629)	56.6	24.0	4.4	15.0
要介護1～5(1,549)	57.7	22.8	4.5	15.0
特養待機者(80)	35.0	47.5	1.3	16.3

(4) 町田市介護保険サービス・高齢者福祉施策についての要望等

問 33 町田市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。(自由記述)

図表 8-4 町田市介護保険サービス・高齢者福祉施策についての要望等(複数回答)



以下はあげられた意見を抜粋・一部要約したものです。(全 394 件)

※「特養待機者」と記載のない場合は、「要介護 1～5」である

① 感謝・おほめの言葉(57 件)

- ・ 町田市の高齢者福祉関係は良い。【女性, 75～79 歳】
- ・ 市民病院の支援センターは、親切でよかった。大変助かった。【女性, 75～79 歳】
- ・ 他の市区町村に比べると、町田の介護サービスには十分に満足している。市役所に行っても職員の方の対応も優しく、丁寧で親切にしてもらい、いつも有難く感じている。
【女性, 75～79 歳】
- ・ 町田市の介護保険サービスは、多方面に充実していて、ありがたいと思う。【女性, 95～99 歳】

- ・ 町田市の福祉施策はよくできていると感謝している。“安心して暮らせる町田”である。
【女性, 95～99 歳】
- ・ ケアマネジャー他、町田市には大変お世話になっている。今後共、よろしくお願ひしたい。
【女性, 100 歳以上】
- ・ 町田市民になって 50 余年だが、本当に充実されていると思う。どうかこれからも今の町田市であってほしいと願う。【男性, 80～84 歳】
- ・ 町田市の現状は、とても良く対応されていると思う。【男性, 90～94 歳】
- ・ 非常に連携してお世話を受けることができ、温かい心で親身にやっていただけることに深く感謝している。【男性, 90～94 歳】
- ・ 町田市の福祉は、充実していると思う。行政の手厚い高齢者支援に感謝している。
【男性, 90～94 歳】

② 入所・入居施設について(34 件)

- ・ 現在、特別養護老人ホームにお世話になっているが、以前お世話になっていた介護老人保健施設に比べて、音楽療法などのイベントが少なく、元気が乏しいと思う。【女性, 75～79 歳】
- ・ 本人が自宅生活が困難になった時、ホームにすぐに入ることができるのか。施設が沢山でき、高齢者・家族が不安を感じない社会になってほしい。【女性, 75～79 歳】
- ・ 市と有料老人ホームとの介護サービスの連携、または指導についてよくわからない。入居者の不満についての監視をお願いしたい。【女性, 85～89 歳】
- ・ 家族に大きな負担がかからないうちに特養に入所できるように整備してほしい。
【女性, 85～89 歳】
- ・ 町田市内の特養施設の絶対的な不足。順番待ちは余命年数以上。【女性, 95～99 歳, 特養待機者】
- ・ 周辺市町村などとの連携不足（施設利用、特養入居など）。【女性, 95～99 歳, 特養待機者】
- ・ 費用が安いと聞いている特養ホームだが、ばらつき（高い低い）があるのを統一してほしい。
【男性, 75～79 歳】
- ・ 町田市内に夜間看護師の居るショートステイのある施設ができるとよいと思う。
【男性, 75～79 歳】

③ 高齢者福祉施策について(33 件)

- ・ エレベーターの無い 5 階のマンションに住んでいるが、介護で出る多量のゴミ捨てなど、足も悪くなり、毎回不安とストレスになっている。何か良い方法はないか。
【男性, 75～79 歳】
- ・ バス停でのひさし設置といすの設置。【女性, 70～74 歳】
- ・ コンビニ利用（ミニ買物、支払い）ができるとかなり助かり、社会とのつながりが増すように思う。【女性, 75～79 歳】
- ・ 高齢者が一人住まいをしても、安心できるよう、治安、見守り等、充実してほしい。
【女性, 80～84 歳】
- ・ 高齢者の増加に伴い、隣近所の付き合いも少なくなる傾向なので、なんとか連携のとれる体制に

ならないかとも考えられるが、付き合いの度合いも色々あり、すぐにそんなことにするのは難しいと思われ、何かいい方法がないものかと思う。【女性, 80～84 歳】

- ・ 自宅にいつまで住んでいられるか。自分で見切れどき、福祉はどのような内容がわからない。家の内だけなのか。まだまだ道路が悪く外出が大変であるが、福祉でなんとかできる方法はないのか。【女性, 80～84 歳】
- ・ 地域包括ケアシステムの中核的専門機関「高齢者支援センター」の機能の見直しと対応力の強化。所定の専門職を配置するだけでは、対応できる状況ではなくなってきている。介護予防、認知症講座など、さらに効果的な取り組みが必要。委託のあり方も見直しが必要。スタッフの人材レベルの質的向上も必要。【女性, 85～89 歳】
- ・ 町田市は坂が多く、外出困難。バスもたくさんあるが、神奈中バスは不親切。コミュニティバスは一般の路線を走るなど、全く考えられていない（町田街道の循環）。もっと団地の中（木曾森野住宅や木曾住宅内）を走らせる、スーパーまで走らせるなどし、生活に密着したコミュニティバスの運行を考えてほしい。高齢者は買物をしたくて仕方ない。お金を使うことで、経済効果も上がると思う。【男性, 80～84 歳】

④ 各種サービスについての要望(26 件)

- ・ 住んでいる町（地域）にかかわらず、利用できるデイケアサービスをもっと増やしてほしい。
【女性, 75～79 歳】
- ・ デイサービスの帰宅時間を有料でも良いので延長してほしい。理由として、介護する人が短時間しか働けないので帰宅時間に間に合わない。【女性, 85～89 歳】
- ・ ふれあいサロンの増加と充実。【女性, 85～89 歳】
- ・ 介護度が進むと「かかりつけ医」に通うことはできなくなる。訪問医（総合診療医）の充実を望む。【女性, 90～94 歳】
- ・ デイサービスは楽しいが、ショートステイはつまらないと言っていた。ショートステイの過ごし方を検討してほしい。【女性, 90～94 歳】
- ・ 様々な手続きを代理人（家族）が容易にできるように配慮いただきたい。【女性, 90～94 歳】
- ・ どのデイサービスでも、1泊のおとまりデイを考えてもらいたい。慣れた、いつも行くデイでお泊りができたらいいのにといつも思う。【女性, 90～94 歳】
- ・ 介護サービスについては大変満足している。住居の改善にもう少し希望をかなえてほしい。
【男性, 70～74 歳】
- ・ 入浴サービスはデイサービスまたは訪問入浴サービスしかないが、入浴サービスのみ、通える施設（デイサービスではなく）があるととても助かる。病気であっても、対応可能なショートステイ先はないものか。【男性, 80～84 歳】

⑤ 経済状況について(23 件)

- ・ 経済的に楽な賃金の住宅など（集合住宅で）あれば知りたい。【女性, 80～84 歳】
- ・ 現在は不自由は無いが、今後、病院や施設に入ることになった時、経済的に不安がある。
【女性, 80～84 歳】

- ・ 病院関係が高いので、安くしてほしい。自由契約のため。【女性, 90～94 歳】
- ・ 医療費、介護費の自己負担が増えて、これから心配。【男性, 70～74 歳】
- ・ 年金生活のため、予算が不足している。【男性, 80～84 歳】
- ・ 全てにお金がかかりすぎて、生活が苦しくなった。【男性, 80～84 歳】

⑥ 町田市に対する意見(21 件)

- ・ 現在の生活が維持できるよう、介護保険サービス、高齢者福祉施策を充実していただきたいと思う。【女性, 80～84 歳】
- ・ いろいろな手続き等のため市役所まで行くのが大変。何とかならないか。
【女性, 85～89 歳】
- ・ お願いしたい状態になった時に速やかにお願いできることを願っている。【女性, 85～89 歳】
- ・ 住民を安心させるためにも、最先端医療の積極的導入を期待すると共に特別養護老人ホームの拡充を期待する。【男性, 80～84 歳】
- ・ 今はほぼ充分という位、丁寧親切な介護サービスの恩恵に与り、とても感謝しているが、今後高齢者は増すばかりで、市の行政のあり方は益々問われると思う。多少、事務的になっても当然と思うが、この件に力を入れてほしい。【男性, 80～84 歳】

⑦ 各種サービスについての不満(21 件)

- ・ 特別養護老人ホームで外国人の職員が多くなり、意思が通じないことが多いようだ。
【女性, 70～74 歳】
- ・ 本人要望、希望にそったサービスを。現在では物足りない。看護、介護の範囲を広く考えて。
【女性, 75～79 歳】
- ・ ケアマネジャーさんのレベルに差がありすぎると思う。【男性, 85～89 歳】
- ・ 月に一度ケアマネが来るが、長時間（1 時間以上）で体力的につらくて苦痛。
【女性, 85～89 歳】
- ・ 介護用品（車いすなど）の使用できるものが足りない。介護サービスの利用枠が足りない。
【女性, 90～94 歳】

⑧ 情報提供について(21 件)

- ・ 介護保険サービス・高齢者福祉施策、なかなかいざとなると難しい手続きがあるようで、もう少し利用にあたって、わかりやすいようにしてほしい。【女性, 75～79 歳】
- ・ 一般の人は介護のことをよく知らない。どのようにしたら介護保険を使って、利用できるか知らせてほしい。【女性, 80～84 歳】
- ・ 現在、特養の申し込みをしているが、いつまで待つかわからない。【女性, 80～84 歳】
- ・ 介護保険のサービスにどんなサービスがあるのか、よくわからない。福祉施策が何処にあって、どんな事ができるのか、わからない。【女性, 80～84 歳】
- ・ ほとんど知識がない。広報でも大々的に詳しく、シリーズで伝えてほしい。
【女性, 90～94 歳】

⑨ 介護保険料・介護保険制度について(19 件)

- ・ 介護保険料の無料を期待する。【女性, 75～79 歳】
- ・ 年金生活のため、少額なので、介護保険サービスが高額でなかなか使えない。高額医療費もかかるので、病気になっても、医者にも行きにくい時もある。【女性, 85～89 歳】
- ・ 介護保険はかなり重くならないと、施設（特別養護老人ホーム）に入れないので、結局有料老人ホームに入るしかなかったりする。いざという時に使えなかったり、制度の穴があると思う。
【女性, 90～94 歳】
- ・ 保険料が高すぎる。もっと安くすべき。【性別無回答, 年齢無回答】

⑩ 今後の生活への不安等(18 件)

- ・ 介護人の健康状態が良くない場合、買物、掃除、ちょっとした料理等をしてもらいたいと思う。介護人が倒れたら、二人共に施設にはいられなければならないので不安。【女性, 80～84 歳】
- ・ 現在のところ、満足している。私は車椅子の使用者なので、いざという時の不安は多少ある。そのことについての話し合いはあまりしていない。【女性, 85～89 歳】
- ・ 夫婦で暮らしているが、家内が要介護 1 で、私は今は元気だが、私が病気になった時家内は何もできない。また身内は娘が 1 人いるが、13 年前から脳梗塞で入院している。誰も見てくれる人がいないので心配している。成年後見制度には入っている。【女性, 85～89 歳】
- ・ 将来介護できなくなった時、特養にスムーズに入所できるか不安。ヘルパーさんやケアマネの数も不足しているみたいなので、大変そうである。【男性, 85～89 歳】

⑪ 介護者や介護負担について(18 件)

- ・ 介護を必要とする者だけでなく、それを見守る家族の負担を軽くしてほしい。家族の負担が大きすぎる。【女性, 80～84 歳】
- ・ 高齢者が介護し、介護している人も苦しい者が多くいる事を、市は調査して、何かいい方法を考えてほしい。【男性, 85～89 歳】
- ・ 介護する家族が高年齢（70 歳以上）となり、二重介護に対する対応不足。
【女性, 95～99 歳, 特養待機者】
- ・ 介護をする家族への精神的なケアが必要。【男性, 90～94 歳】

⑫ 介護人材について(18 件)

- ・ 質の向上、長年勤めている人の再評価、スキルの向上。【女性, 75～79 歳】
- ・ スタッフ不足で、入所者のニーズに対応できていない。【男性, 85～89 歳】
- ・ 介護職員の教育（養成）と、意識を高めるための十分な報酬を希望する。【女性, 85～89 歳】
- ・ ヘルパーの中には、少し乱暴に扱う方がいるので、気をつけてもらいたい。
【性別無回答, 年齢無回答】

⑬ リハビリについて(13 件)

- ・ 特養でのリハビリを強化させてほしい。特養入居→体力が急速に落ちるという状況がとて多いので、残念に思っている。【女性, 90～94 歳】
- ・ 現在要介護 2 に認定されているが、失語症に対応できる施設や人が不足しているようである。現在は、医療保険を利用して、リハビリに通っている。対応できる言語聴覚士さんが増えることを切に望む。金銭的にも大変である。【男性, 75～79 歳】
- ・ 常態が維持できるよう、リハビリもしてほしい (デイサービス)。【男性, 80～84 歳】

⑭ タクシーについて(13 件)

- ・ 介護タクシーの費用補助が少ない。【女性, 95～99 歳, 特養待機者】
- ・ 福祉タクシーの利用が不便である (日時・場所など)。【女性, 95～99 歳, 特養待機者】
- ・ 福祉タクシー利用券などができるとうれしい。障害者手帳を持っていても年齢でもらえない。
【男性, 70～74 歳】
- ・ 介護タクシーの値が高いと思う。車を持たない我々高齢者には、もう少し安ければ気兼ねなく使えると思う。【男性, 75～79 歳】

⑮ 認知症について(11 件)

- ・ 認知症高齢者グループホームを堺地域に増やしてほしい。【女性, 80～84 歳, 特養待機者】
- ・ 特養老人ホームの入所基準を見直してほしい。日常生活の介助はあまり必要なくても、認知症の場合、コミュニケーションをとることが難しく、一緒に暮らしていくことが負担になる。認知症の老人に対してきめ細かい対応を望む。【女性, 90～94 歳】
- ・ 認知症 (もの忘れ) はあるが、身体は比較的丈夫で、囲碁や将棋のために高齢者センターいちょう館にひんぱんに行きたいが、近ごろ自転車に乗れなくなり困っている。家族は働いていて、月に 1～2 度しか送迎できない。【男性, 80～84 歳】

⑯ 相談支援について(9 件)

- ・ 介護に関する事業所を選ぶのに大変な面がある。【女性, 70～74 歳】
- ・ 一人ひとり親身になって相談にのってほしい。【女性, 75～79 歳】
- ・ 訪問診療を希望するが、どうすれば良いのかわからない。【男性, 85～89 歳】

⑰ おむつについて(8 件)

- ・ オムツのサービスは、M・L サイズ以外もあるといい。【女性, 85～89 歳】
- ・ おむつの費用が高いので、支援してほしい。【女性, 90～94 歳】
- ・ おむつのゴミ袋を市民センターまで取りに行っているがもっと近く (例えばコンビニや近くの商店など) で受け取れたらと思っている。無料なのは、大変助かる。【男性, 75～79 歳】

⑱ アンケートについて(8件)

- ・ 私は自宅で七年間、ねたきりの夫の母を介護した。あの頃は、このような高齢者介護支援等なかったかと思う。今は一人になってしまったが、このようなアンケートをととてもありがたく思う。
【女性, 80～84 歳】
- ・ アンケートについて。本人は、認知症、おもに物忘れが進んでいるので、本人に確認しながら記入した。現在、有料老人ホームに住んでいるので、問 22 以降答えられないものあり。
【女性, 85～89 歳】
- ・ なんでこんな長いアンケートをするのか。読む人も大変だと思う。生かされるのか。
【男性, 85～89 歳】

⑲ その他(23件)

- ・ 特養に入れるまで待たされた月数が長く、大変だった。【女性, 75～79 歳, 特養待機者】
- ・ これからも自宅でのんびり暮らし、幸せな最後を迎えたいと希望している。【男性, 85～89 歳】

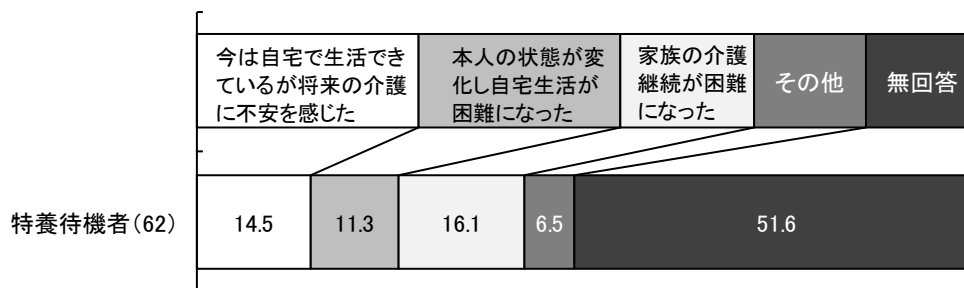
9. 特別養護老人ホームの入所待機について

(1) 申し込んだ主な理由

問 34 特別養護老人ホームに申し込んだ主な理由は何ですか。(〇は1つ)

特別養護老人ホームに申し込んだ主な理由は、「家族の介護継続が困難になった」(16.1%)が最も高く、次いで「今は自宅で生活できているが将来の介護に不安を感じた」(14.5%)、「本人の状態が変化し自宅生活が困難になった」(11.3%)となっている。

図表 9-1 申し込んだ主な理由(単数回答)



※問 26 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

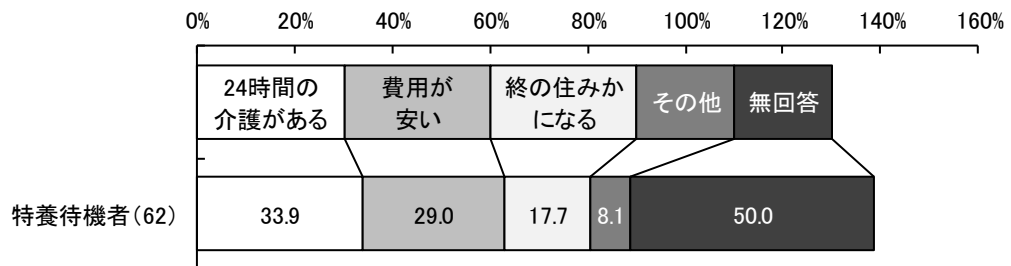
(2) 入所を希望する理由

問 35 特別養護老人ホームへの入所を希望する理由は何ですか。

(当てはまるもの全てに○)

特別養護老人ホームへの入所を希望する理由は、「24 時間の介護がある」(33.9%) が最も高く、次いで「費用が安い」(29.0%)、「終の住みかになる」(17.7%) となっている。

図表 9-2 入所を希望する理由(複数回答)



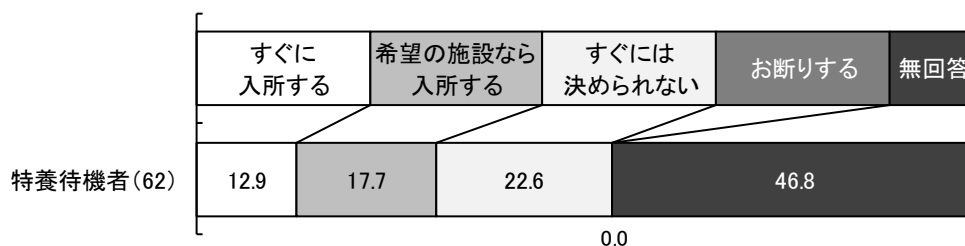
※問 26 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

(3) 入所通知が来た場合の対応

問 36 今、申し込んだ施設から入所通知が来た場合、どうしますか。(○は1つ)

申し込んだ施設から入所通知が来た場合の対応は、「すぐには決められない」(22.6%)が最も高く、次いで「希望の施設なら入所する」(17.7%)、「すぐに入所する」(12.9%)となっている。

図表 9-3 入所通知が来た場合の対応(単数回答)



※問 26 で、「特別養護老人ホーム」を利用していると回答した方を除いている。

III. 調査票

高齢者の福祉や介護に関するアンケート調査についてのお願い 【市民ニーズ調査】

市民の皆さまには、日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、町田市では、2021から2023年度までの介護保険のサービス量の見込みや、介護保険料等について定める「第8期町田市介護保険事業計画」策定の準備を進めています。この計画の策定にあたって、皆さまの生活実態やご意見・ご要望などを把握し、基礎資料として活用させていただきたく、「市民ニーズ調査」を実施いたします。

この調査は、65歳以上の要介護1から5の町田市民の方の中から、無作為に選ばせていただいた方に対し、ご協力をお願いしております。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

2019年12月 町田市

1. 記入の方法

アンケートの回答は、この調査票に直接ご記入ください。筆記用具は、鉛筆またはボールペンなどをお使いください。

2. アンケートの対象者

封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっています。

3. アンケート回答者（記入者）

できる限り、アンケート対象者（あて名の方）ご本人がご回答（記入）ください。ただし、ご本人による回答（記入）が難しい場合は、ご家族の方などがご本人の状況や意志を反映して、ご記入いただきますようお願いいたします。

4. 返送の方法

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、2019年12月27日（金）までにご返送ください。切手を貼らずに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。

5. 返送いただいた回答について

無記名での回答となりますので、回答者が特定されることはありません。

【問い合わせ先】 町田市役所いきいき生活部いきいき総務課企画総務係

郵便番号 194-8520

住所 東京都町田市森野2-2-22

電話 042-722-3111（代表）

FAX 050-3101-4315

問1 ご回答いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

1. あて名のご本人が記入

2. ご家族が記入

あて名のご本人からみた続柄

1. 配偶者 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. 親 6. その他

3. その他(友人知人、訪問介護員等)

《あなた(あて名ご本人)とそのご家族や、お住まい等について》

問2 あなた(あて名ご本人)の性別(〇は1つ)

1. 男性

2. 女性

3. その他

4. 無回答

問3 あなたの年齢(記入日時点)(〇は1つ)

1. 65～69歳

5. 85～89歳

2. 70～74歳

6. 90～94歳

3. 75～79歳

7. 95～99歳

4. 80～84歳

8. 100歳以上

問4 あなたのご家族について、現在同居されている方をお教えてください。
(当てはまるもの全てに〇)

1. 配偶者(65歳以上)

2. 配偶者(64歳以下)

3. きょうだい(65歳以上)

4. きょうだい(64歳以下)

5. 息子・娘(65歳以上)

6. 息子・娘(64歳以下)

7. 孫

8. その他

9. 同居者はいない

問5 あなたは、どちらの地域にお住まいですか。(〇は1つ)

1. 堺第1 (相原町)
2. 堺第2 (小山町、小山ヶ丘、上小山田町)
3. 忠生第1 (下小山田町、忠生、小山田桜台、矢部町、常盤町、根岸町、根岸、函師町)
4. 忠生第2 (山崎町、山崎、木曾町、木曾西、木曾東)
5. 鶴川第1 (小野路町、野津田町、金井、金井町、大蔵町、薬師台)
6. 鶴川第2 (能ヶ谷、三輪町、三輪緑山、広袴町、広袴、真光寺町、真光寺、鶴川)
7. 町田第1 (原町田、中町、森野、旭町)
8. 町田第2 (本町田)
9. 町田第3 (玉川学園、東玉川学園、南大谷)
10. 南第1 (鶴間、小川、つくし野、南つくし野、南町田)
11. 南第2 (金森、金森東、南成瀬、成瀬が丘)
12. 南第3 (成瀬、西成瀬、高ヶ坂、成瀬台)

問6 あなたは、現在どちらにお住まいですか。(〇は1つ)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 1. 自宅 (きょうだい、子ども、親戚等の家を含む)2. 病院 (長期的な入院)3. 施設 (入所中) ● →4. その他 | <p>【施設の種類】(〇は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 特別養護老人ホーム2. 介護老人保健施設3. 介護療養型医療施設4. 認知症高齢者グループホーム5. 介護付有料老人ホーム6. 住居型有料老人ホーム7. サービス付き高齢者向け住宅8. その他の施設 |
|--|--|

※問6で「1」と回答した方におたずねします。

問6-1 現在のお住まいについて、所有の状況(持ち家/賃貸)と建物の種類をお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

- | | |
|--|---|
| <p>【所有の状況】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 持ち家2. 公営賃貸3. 民間賃貸4. その他 | <p>【建物の種類】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 一戸建て2. 集合住宅 (マンション・アパート等)3. その他 |
|--|---|

次ページに続く

※問6で「1」と回答した方におたすねします。

→問6-2 今後5年以内に現在の住まいから住み替えたい考えはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

《お身体や介護・介助の状況、生活の状況について》

問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(当てはまるもの全てに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. ない |
| 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 |
| 4. 糖尿病 |
| 5. がん (悪性新生物) |
| 6. 血液・免疫の病気 |
| 7. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) |
| 8. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 9. パーキンソン病 |
| 10. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 11. 腎臓・前立腺の病気 |
| 12. 目の病気 |
| 13. 耳の病気 |
| 14. 外傷 (転倒・骨折等) |
| 15. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 16. 高血圧 |
| 17. 高脂血症 (脂質異常) |
| 18. うつ病 |
| 19. その他 () |

問8 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1. 要介護1 | 6. わからない |
| 2. 要介護2 | 7. その他 |
| 3. 要介護3 | |
| 4. 要介護4 | |
| 5. 要介護5 | |

問9 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 10. 視覚障害 |
| 2. 心臓病 | 11. 聴覚障害 |
| 3. 糖尿病 | 12. 骨折・転倒 |
| 4. がん（悪性新生物） | 13. 関節の病気（リウマチ等） |
| 5. 血液・免疫の病気 | 14. 脊椎損傷 |
| 6. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） | 15. 高齢による衰弱 |
| 7. 認知症（アルツハイマー病等） | 16. その他 |
| 8. パーキンソン病 | () |
| 9. 腎疾患（透析） | 17. 不明 |

問10 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービス
8. その他 ()

問11 日中、一人になることがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

問12 あなたは、地域のご近所の方とどのようなお付き合いをされていますか。
(○は1つ)

1. 互いに相談したり日用品を貸し借りするなど、生活面で協力しあっている人がいる
2. 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている
3. あいさつ程度の最低限の付き合いしかしていない
4. 全く付き合いをしていない

問13 次の中で、情報を得るために日常的に使用しているものはありますか。
(当てはまるもの全てに○)

1. 本、雑誌
2. 新聞
3. テレビ
4. ラジオ
5. インターネット

問14 あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 介護の負担
2. 子育ての負担
3. 障がいのある家族のケアの負担
4. 病気の治療
5. 生活の困窮
6. 就職困難・就労継続困難
7. 引きこもり・孤立
8. 虐待・家庭内暴力(DV)
9. その他 ()

問15 現在の暮らし(家計)の状況を総合的にみてどう感じていますか。
(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問16 あなたは、現在どの程度幸せですか。
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご回答ください。
(○は1つ)

とても不幸	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	とても幸せ
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-------

《物忘れについて》

問17 物忘れが多いと感じますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

問18 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

問19 今日が何月何日かわからない時がありますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

問20 あなたは病院で認知症と診断されたことがありますか。(〇は1つ)

1. はい 2. いいえ

※問20で「1」と回答した方におたずねします。

→問20-1 認知症の症状を理由に、次のサービス等の利用を断られたことはありますか。(当てはまるもの全てに〇)

1. デイサービス 4. 病院
2. 特別養護老人ホーム 5. その他 ()
3. ショートステイ

問21 次の認知症に関する相談窓口をご存じですか。(当てはまるもの全てに〇)

1. 高齢者支援センター
2. 認知症電話相談窓口※
3. 認知症疾患医療センター (鶴川サナトリウム病院)
4. その他 ()
5. 知らない

※ 認知症電話相談窓口とは
認知症のことを専門の相談員に気軽に電話で相談できる窓口のこと。
電話番号：0120-115-513

問22 以下の場面について、利用する場合困ったり不安に思うことはありますか。(〇は1つ)

	1. 利用 しない	2. 全く 不安が ない	3. あまり 不安に 感じない	4. やや 不安に 感じる	5. とても 不安に 感じる
①スーパーやコンビニでの買い物やお会計	1	2	3	4	5
②銀行や郵便局の窓口やATMでのお金の引き出し	1	2	3	4	5
③電車やバスなどの公共交通機関の利用	1	2	3	4	5

《在宅療養について》

問23 あなたが、病気やケガで長期の治療、療養が必要になった場合、在宅療養*を希望しますか。(〇は1つ)

※在宅療養とは、自宅で訪問診療などの医療サービスや訪問介護等の介護サービスを受けながら、療養生活を送ることをいう。

1. 希望するし実現可能だと思う (現在、在宅療養中を含む)
2. 希望するが実現は難しいと思う
3. 希望しない

問24 在宅療養について不安に感じることは何ですか。
(当てはまるもの全てに〇)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 家族の負担 (肉体的・精神的) | 7. どのようなサービスがあるかわからない |
| 2. 経済的な負担 | 8. 事業者の訪問が精神的に負担 |
| 3. 緊急時や救急時の対応 | 9. その他 () |
| 4. みてくれる人がいない | 10. 不安はない |
| 5. 住環境が整っていない | |
| 6. 手続きがわからない | |

問25 訪問診療 (訪問看護を含む) を利用していますか。(〇は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

《介護保険サービスについて》

問26 現在、利用している介護保険サービスを、下記の「介護保険サービス一覧」からお答えください。（当てはまるもの全てを回答）
 また、利用されているサービスの満足度をお答えいただき、「3.不満である」と回答されたサービスについては、その理由をお答えください。
 （自由記載）

記入例

利用しているサービス(番号)	満足度			不満である理由
	1. 満足である	2. 普通	3. 不満である	
6	1	2	3	回数や時間が足りない など
	1	2	3	
	1	2	3	
	1	2	3	
	1	2	3	
	1	2	3	
	1	2	3	
	1	2	3	

※利用しているサービスを一覧より選んで番号を記入してください

<介護保険サービス一覧>

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 訪問介護 | 11. 認知症対応型通所介護 |
| 2. 訪問入浴介護 | 12. (看護)小規模多機能型居宅介護 |
| 3. 訪問看護 | 13. 認知症高齢者グループホーム |
| 4. 訪問リハビリテーション | 14. 介護付有料老人ホーム |
| 5. 居宅療養管理指導 | 15. 特別養護老人ホーム |
| 6. 通所介護 (デイサービス) | 16. 介護老人保健施設 |
| 7. 通所リハビリテーション (デイケア) | 17. 介護療養型医療施設 |
| 8. 短期入所生活介護 (ショートステイ) | 18. 福祉用具貸与 |
| 9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 19. 福祉用具購入 |
| 10. 夜間対応型訪問介護 | 20. 住宅改修 |

問27 現在利用中のサービス以外で、利用を検討しているサービスや施設など
はありますか。お答えください。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 訪問介護 | 12. (看護) 小規模多機能型居宅介護 |
| 2. 訪問入浴介護 | 13. 認知症高齢者グループホーム |
| 3. 訪問看護 | 14. 介護付有料老人ホーム |
| 4. 訪問リハビリテーション | 15. 特別養護老人ホーム |
| 5. 居宅療養管理指導 | 16. 介護老人保健施設 |
| 6. 通所介護(地域密着型含む) | 17. 介護療養型医療施設 |
| 7. 通所リハビリテーション | 18. 福祉用具貸与 |
| 8. 短期入所生活(療養)介護 | 19. 福祉用具購入 |
| 9. 定期巡回・随時対応型訪問
介護看護 | 20. 住宅改修 |
| 10. 夜間対応型訪問介護 | 21. 住宅型有料老人ホーム |
| 11. 認知症対応型通所介護 | 22. サービス付き高齢者向け住宅 |
| | 23. その他
() |
| | 24. 検討していない |

問28 将来、自分の最期はどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|---------|
| 1. 自宅 | 2. 介護施設 | 3. 医療施設 |
|-------|---------|---------|

問29 これからの介護についてどのような形が望ましいとお考えですか。
(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 住み慣れた自宅を中心に様々な介護サービスを利用して生活する |
| 2. 特別養護老人ホームやグループホーム等の施設に入所する |
| 3. その他 () |

《高齢者支援センターについて》

問30 高齢者支援センター*を知っていますか。(○は1つ)

*高齢者支援センターとは介護保険法に基づき設置されている、
高齢者の方のための総合相談窓口をいう。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 知らない |
| 2. 知っているが、どこにあるかは知らない |
| 3. 知っており、高齢者支援センターの場所も知っている |

問31 虐待を受けたとき、または高齢者の虐待を見たとき、相談できる場所を知っていますか。(〇は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

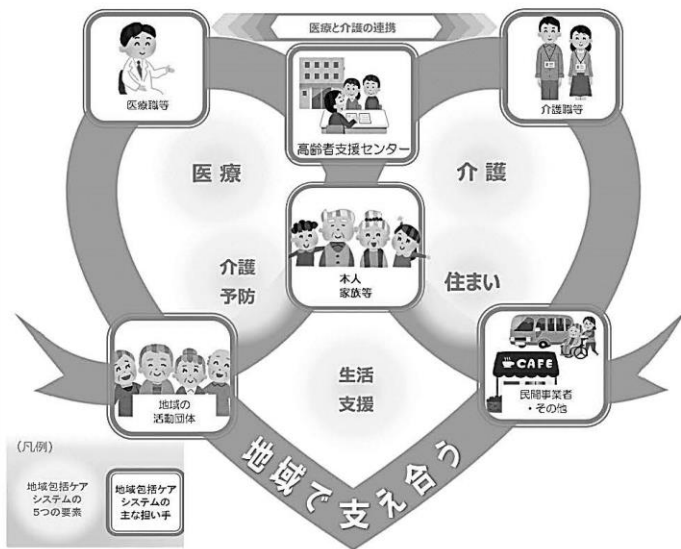
《地域包括ケアシステムの考え方について》

【町田市の地域包括ケアシステム】

「地域包括ケアシステム」とは、在宅での生活に必要な5つの要素である「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「生活支援」に関するサービスを必要に応じて利用することで、**住みなれた地域で元気に暮らし続けることを目指す考え方**です。

市は、必要な時に必要な支援を受けられる生活環境の整備を進めていきます。

また、高齢者の生活を支えるには、介護保険のサービスだけでは必ずしも十分ではないため、自助・互助・共助といった地域の助け合いが促進される環境づくりも進めていきます。



問32 住みなれた地域で暮らし続ける(地域包括ケアシステムの実現)のために、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。(当てはまるもの全てに〇)

1. 高齢者の総合相談窓口（高齢者支援センター）の充実
2. 介護状態の悪化防止、軽減、予防
3. 地域による高齢者の見守りへの支援
4. 認知症の早期対応
5. かかりつけ医を持つこと
6. 訪問診療の普及
7. 医療と介護の連携
8. 配食などの生活支援
9. 介護する家族への支援
10. 在宅介護保険サービスの充実
11. 自分にあった住まいの選択
12. 介護・生活支援サービスの担い手の確保・育成
13. その他（

)

問33 町田市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。(自由記述)

★ ここからは、現在、特別養護老人ホームへの入所申し込みをされている方(待機者)のみにおたずねします。

《特別養護老人ホームの入所待機について》

問34 特別養護老人ホームに申し込んだ主な理由は何ですか。(〇は1つ)

1. 今は自宅で生活できているが将来の介護に不安を感じた
 2. 本人の状態が変化し自宅生活が困難になった
 3. 家族の介護継続が困難になった
 4. その他 ()

問35 特別養護老人ホームへの入所を希望する理由は何ですか。
(当てはまるもの全てに〇)

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 1. 24時間の介護がある | 4. その他 |
| 2. 費用が安い | () |
| 3. 終 <small>つい</small> の住みかになる | |

問36 今、申し込んだ施設から入所通知が来た場合、どうしますか(〇は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. すぐに入所する | 3. すぐには決められない |
| 2. 希望の施設なら入所する | 4. お断りする |

アンケートは以上です。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
切手を貼らずにポストに投函してください。
ご協力いただきありがとうございました。

高齢者の福祉や介護に関する調査
－ 市民ニーズ調査 － 報告書

発行年月 2020年 3月

発行者 町田市高齢社会総合計画審議会
町田市

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

TEL 042-722-3111(代表)

編集 いきいき生活部いきいき総務課
